原作 サイトウケンジ
STORY by KENJI SAITO
作画 横山コウヂ
COMIC by KOUZI YOKOYAMA
01
レッドナイト・イヴ
REDNIGHT EVE
DRAGON COMICS AGE

原作 サイトウケンジ

作画 横山コウヂ

02

レッドナイト・イヴ

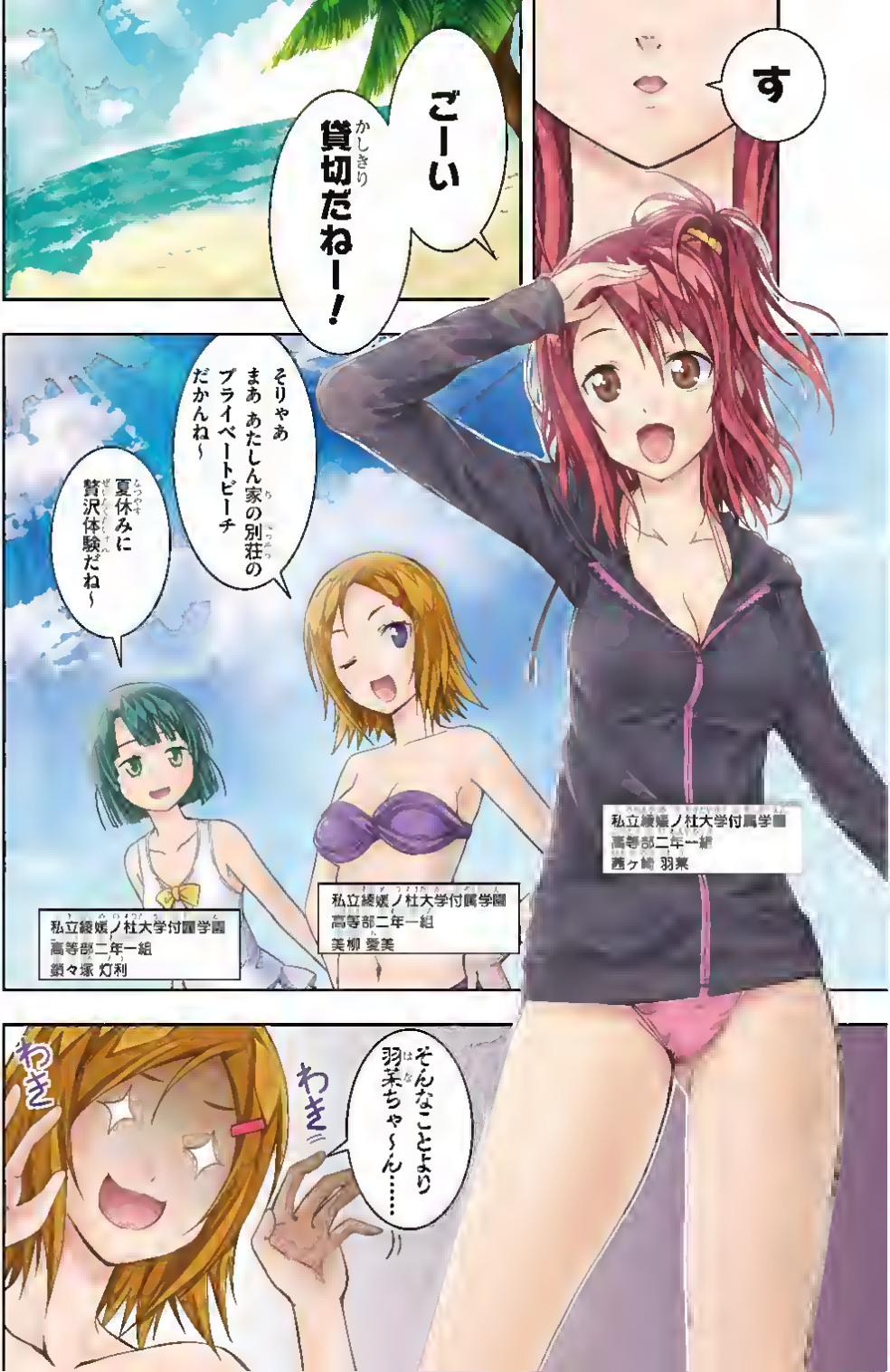
RED NIGHT EVE

DRAGON COMICS AGE

もしあなたが後悔しているなら
あなたが　王の遺産を全て
破壊してください
その時　きっと　私は

原作 サイトウケンジ
STORY by KENJI SAITO
作画 横山コウヂ
COMIC by KOUZI YOKOYAMA
01
イヴ
EVE
第1節 『バビロンの空中庭園』
(バビロンズ・ガーデン)

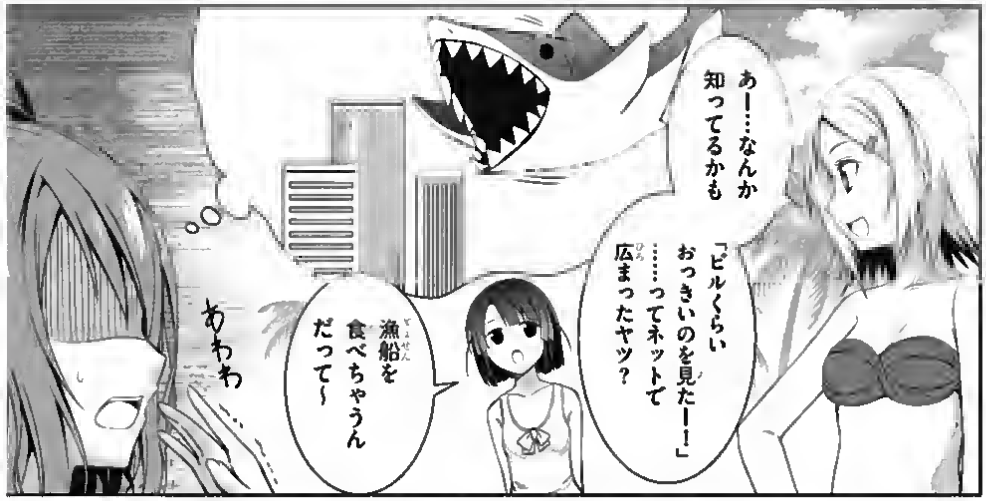
レッドナイト。
REDNIGHT


す
ごーい
貸切(かしきり)だねー！
そりゃあ
まあ あたしん家(ち)の別荘(べっそう)の
プライベートビーチ
だかんね～
夏休(なつやす)みに
贅沢(ぜいたく)体験(たいけん)だね～
私立綾嬢ノ杜大学付属学園
高等部二年一組
西ヶ崎 羽菜
私立綾嬢ノ杜大学付属学園
高等部二年一組
美柳 愛美
私立綾嬢ノ杜大学付属学園
高等部二年一組
鎖々塚 灯利
わき
わき
そんなことより
羽菜(はな)ちゃ～ん……

それーっ！
ひゃわっ!?
ぽよん
おおー
パチ
パチ
な なにするのアミちゃんーっ!?
いやぁ……まるでビーチボールですなぁー
そこまでは大きくないもんっ
もう……

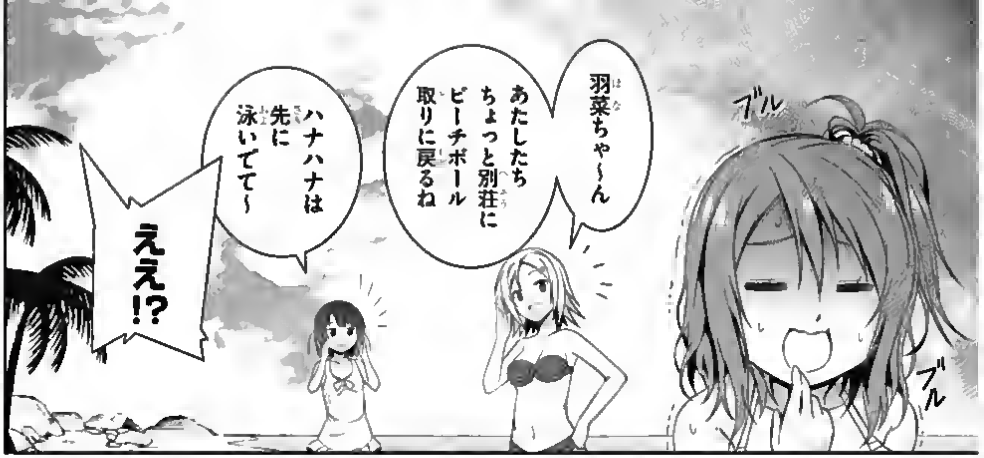
うわわっ
バッ
誰かいるじゃんっ
恥ずかし……
あれ？
……んー？
そういえば
ハナハナ知ってる～？
え…なぁに
トモちゃん？

この辺りって
巨大なサメが出るんだよ～
きょっ 巨大ザメ!?


あー…なんか知ってるかも
「ビルくらいおっきいのを見たー！」……ってネットで広まったヤツ？
漁船を食べちゃうんだって～
あわわ

そんな大きいサメなんて…ないないっ
羽菜ちゃん怖いんだ～
ち…ちがうよ！
ザアッ

……あれは
サメの
背ビレ……？
こんな島の近くに
サメが出るなんて
珍しいな
ちょっと
待て
あのサメ…ッ
うあああああっ!?


羽菜ちゃ～ん
あたしたち
ちょっと別荘に
ビーチボール
取りに戻るね
ハナハナは
先に
泳いでて～
ええ!?
ブル
ブル

あ…あたしも
行く!
三人で行っても
仕方ないしさ
あれ?
もしかして
あの嘘くさい噂が
怖かったり
ドキッ

こ…怖くなんて
ないもん!
いいよ!
二人よりも先に
海を満喫
しちゃうからね!

まったく
もう…
二人(ふたり)であたしのことからかって…！
ゴポッ
……サメ出ないよね？

ん～♪
空ひろーい！
キロッ
カパァ
海でユラユラ
気持ちいい～♪
ふふっ
早くアミちゃんと
トモちゃんも
来ないかなー？
サバー
え？

これ…
って……
う…うそ…
やだ……
やだやだ…っ
きゃあああ!!

バッ
へっ？
ドン
バタバタ

ただのホオジロザメだったようだ
ギィ
タッ
!?
フゥ

サメは鼻に神経が集中していてそこで血の匂いを嗅ぎつける……
だからこそその部位は弱点に成り得る
ふう

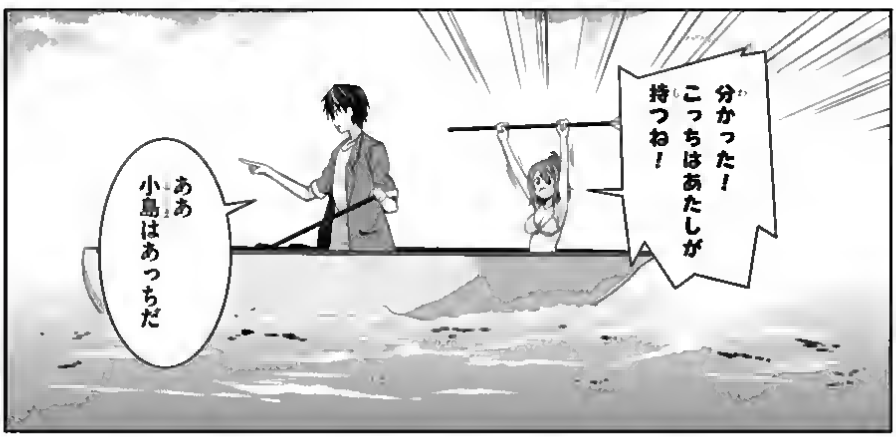
最大の特徴は最大の弱点になるということだな
え…？
あ…もしかしてさっき岩場にいた…
って――

同じクラスの鍵守……？
ん？
こんにちは
私立緑嬢ノ杜大学付属学園
高等部二年一高
鍵守悠人
え？ えと
こんにちは…
って違くて！
なに!? え？
なにこれ
どういうこと!?
なんで
鍵守が!?
ビ
ッ
プルー
っていうか
サメ!!
サメだよね!?
それを今
黒い人が
やっつけて…！

ズバッ
ひえええ！
なにあれ!?
なにあれっ!?
巨大なサメ……
一匹来た後に
本命が…か……
いいから まずは
ボートに乗るんだ
あわわわっ

なんか…
大きいのが！
ハァ
ハァ
やばいよ！
あの背ビレの
大きさからして
全長は30mくらいは
あるだろうな
30mって…っ
大体10階建ての
マンションくらいだ
この動き…
だが…すぐには
襲ってこない
ようだな

落ち着いてないで
今の内に
逃げないと!!
そうだな
この場は不利だ
近くに小島がある
そこに向かおう


分かった!
こっちはあたしが
持つね!
ああ
小島はあっちだ

よかったぁ……
とりあえず無事に小島にたどり着けて
そうだな……
……先に謝罪しておく
これは事故だからな？
どしたの？
へ？
ポロン！

大方潜いてる最中に
水着が捲れて
しまったのだろう
しかし
……予測は
していたが……
これは……
凄いな
っっっ……!?
ィヤァ
い…い……
イヤアアアアア
アァァァッ!!
パァンッ!

ええと……
その……

ああああ！
助けて貰ったお礼が
言いづらいよー！
…別に礼を言う
必要はないさ
ムウ…
学校で同じクラスの
鍵守悠人……

あんまクラスで
話したこと
ないけど……
いつも窓際で
外ばっかり
見てたっけ…
普段から なんか
人を寄せつけない
雰囲気だし
ちょっと
変わった奴だから
妙に気になるというか

おい…
おい
どうした？
え？ いや
…その
鍵守って…
あたしのこと知ってたり
するのかなぁって
ん？
それは当然だろう
ザザア
クラスメイトの
茜ヶ崎羽菜だ
たゆん
クラスの男子たちが
一番可愛いって
騒いでいる
え…
えーっ!?

可愛いのは確かだ
お前は自信を持っていい
かかか
かわ…かわっ!?
ス…
ス…
か 護守…っ
う…後ろ!?
ん?
ズ
ズ
ズ
悠人…
私の目の前で女の子を口説くなんて……

いけない子ね……
そういうんじゃありません 夜々子先輩
私立緑風ノ杜大学付属学園
高等部三年一組
雷守夜々子
え？ え？ 今どこから!?
ってか さっきの黒い人って… もしかして… 先輩？
あら…？ 私のこと ご存じなのかしら？
あ… 当たり前です！

ウチの学校で一番美人で格好いい
夜々子先輩っ！
あらあら嬉しい覚えられ方ね
ズィ
あのサメが狙うのも分かるわ…
美味しそうな子だもの…
ひ…
ひえ……

さて…話を進めるとしよう

話って言われてもなにがなんだか…
茜ヶ崎

こういう事件に巻き込まれたのは初めてか？
こういう事件って……

そもそもサメを見たのが初めてだけど…

巻き込まれただけなのかしら？
サメの化け物すらたぶらかしたのかその胸は！
あぅッ

その胸は
夜々子先輩同様
凶器だ…
おいそれと
使うべきじゃ
ないぞ
分かっているのか!?
ビシッ
む…胸のことは
忘れてー!!
ボワァ
マスター
話が逸れています
ふえ?

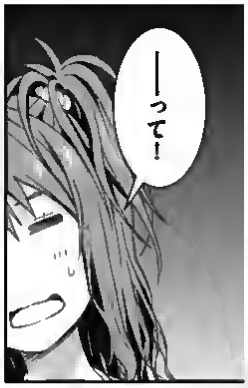
アカシア
初めまして
満ケ崎羽菜さん
へ？ え？
なにこれ!?
画面から
変なのが
出てきたっ!?
私は サポート
プログラムAIの
アカシア
私のマスター
悠人さんが
大変失礼をしました
ペコリ
なんか
お辞儀されたレ！
どどどうしようッ!?
わた
わた
落ち着いて
ください

え…っと……
よろしく
お願いします
なので
現在の状況説明を
行いましょう
マスターの
至らない点を
補うのが
私の役目です
まず 貴女は今
現実世界では
有り得ない事件に
巻き込まれつつあります
そして
そんな事件のことを
『真紅の前夜（レッドナイト・イヴ）』
と呼びます
「真紅の前夜（レッドナイト）」
……

この世界には
〝Dパーツ〟と呼ばれる
特殊な力を持った道具が
いくつもあります
それらは
現代の科学力では
作成できません
そして
総じて超常的な現象を
引き起こすことが
可能なのです
う…うん……

遥か太古に滅びた
文明が作成した……
或いは宇宙の
知的生命体によって
もたらされた……
などの説がありますが
どの説も
実証不可能なものであり
その事実を
解き明かした者はいません
従ってそれらは
次元を超えて生まれた遺産
〝ディメンションパーツ〟
と呼ばれるようになりました
よく世間で
オーパーツと呼ばれる物や
神話や伝承で語られる
道具などは
高確率で
〝Dパーツ〟だったり
するのです

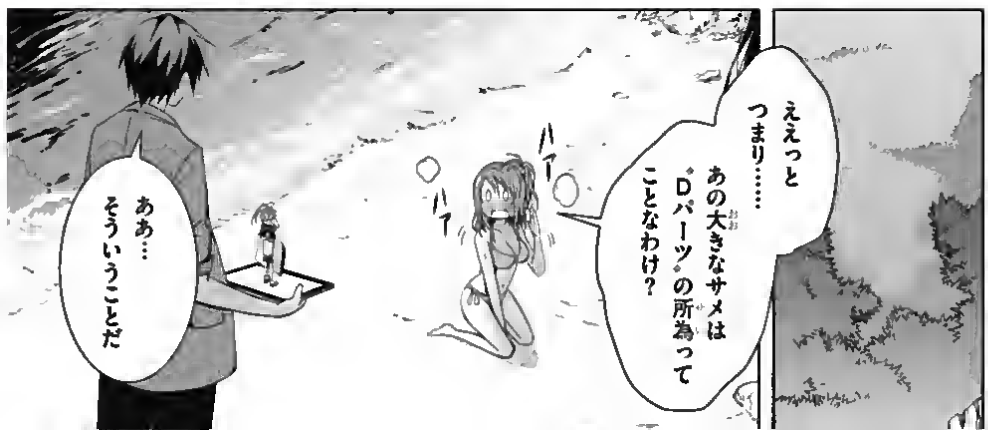
そして
〝Dパーツ〟はいずれ
この世界を滅ぼすのです


――って！

滅ぼすとか
あるわけないし!?
そもそも！
そんな〝Dパーツ〟なんて
本当にある筈ないでしょ？

さっきのサメだって
きっと大きいだけの
サメだし……っ
ビクッ
ひゅわっ!?
信じられないのも
無理はないと
思うけれど……

今はあの大きなサメを退治する
それが私たちの仕事ということよ
納得してくれたかしら？
ビクッ
は はひっ！


ええっとつまり……
あの大きなサメは“Dパーツ”の所為ってことなわけ？
ハァ
ハァ
ああ…そういうことだ

そして先ほど
この付近の海で
一隻の漁船が
消息を絶った
私が調べてみた
ところ
人工衛星の一つが
その時間
近隣の海域に
巨大な魚の影を
捉えていました

もう一度
この周辺の地図を
見せてくれ アカシア
了解しました
マスター
ふむ……
…茜ヶ崎

あーあ……
ザザァ…
アミちゃんもトモちゃんも
心配してるだろうなぁ…
早く帰りたいけど
沖にはサメがいるし

鍵守たちは
島のどっかに
行っちゃうし！
もう……
なにやってんだろ
あたし……
ん？
えっ!?
ちょ――っ
な…なっ
なんでこっちに
向かって来て!?

い…いやでも
さすがに
陸までは……
え……？
え……？
うそ…ッ

きゃあぁあ
あぁあぁあぁッ！

再帰(レキュアランス)せよ

『バビロンの空中庭園（ハンギングガーデン）』
!?

え…なに？
なに!?
ズッ
バシャッ

思った通り
チャリ
茜ヶ崎が一人だと
分かった途端に
襲ってきたな
か…

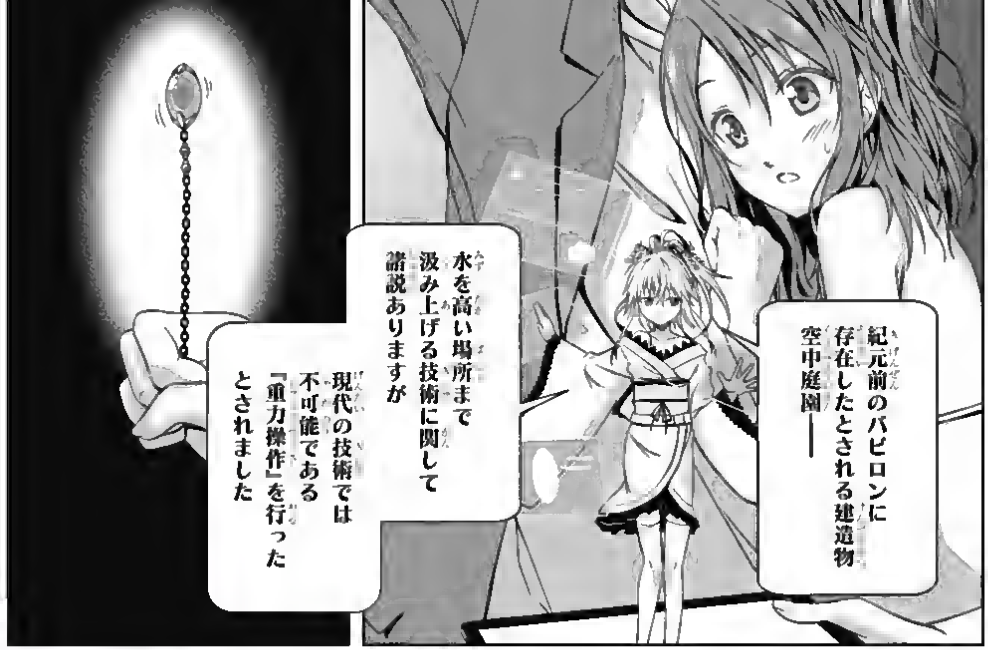
鍵守……っ!!

ぐぐっ
「バビロンの空中庭園」
正常起動中です
ならば
予定通り海の水を
干上がらせるぞ
アカシア
了解しました
マイマスター
ズズズ
ギギ
え…
干上がらせるって…？

グ…ッ
ゴゴゴ
え…え…
えっ？
地震(じしん)!?

え――
なに
これ……

これが…
"D"パーツがこの世界に及ぼす感染力だ
か…感染力……？


紀元前のバビロンに
存在したとされる建造物
空中庭園――
水を高い場所まで
汲み上げる技術に関して
諸説ありますが
現代の技術では
不可能である
『重力操作』を行った
とされました

そして〝Dパーツ〟は
一時的にこの世界に感染し
その技術『重力操作』を
可能にしてしまいます

重力操作なんて
そんなの……

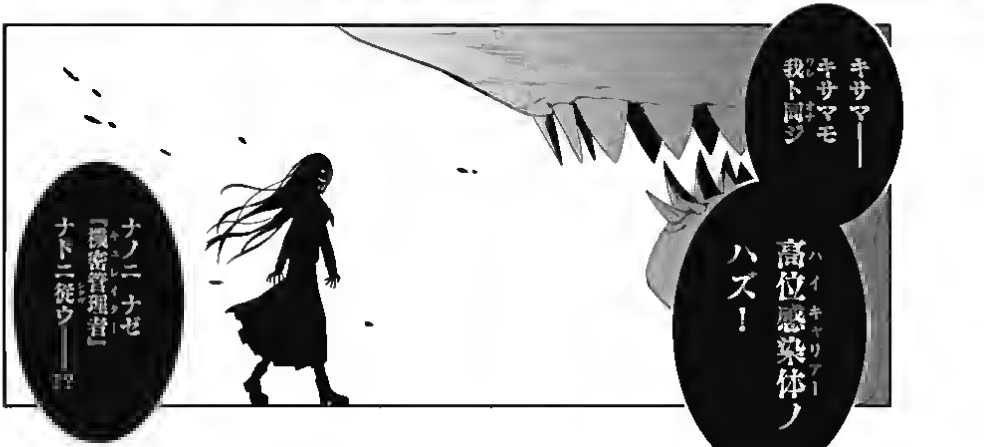
"Dパーツ"は
その感染力の強さで
様々な世界的異常を
発生させる
重力を操る道具も
あれば…
知性を持った
巨大生物を
生み出すことも
あるのさ
え？
知性があるの？
ある……
こいつには
高度な…知性がな
——ヨク分カッタナ

ソウカ――
キサマ
『遺産博物館』ノ
者カ――！
きゃっ
しゃ…
喋った!?
『遺産博物館』所属
『機密管理者』の一人
鍵守悠人だ
お前に知性があることは
とっくに理解していた

一匹目のサメは
操られていたかのように
茜ヶ崎を襲った…
本来サメは血の匂いに
反応しない限り
水上の人間を襲う事は稀だ
そして
茜ヶ崎が一人だと知り
夜になってから
襲いに来たというのも
お前の知性を証明している
キサマ…！
つまり
その子に
一芝居打って貰ったのは
最後の確認という訳よね

ああ…あの独り言させられてたのって……
え？
あたしを狙わせるために？
叔は『音』――
空気の振動か音波で
海の中では
視覚で情報を
得る訳には
いかないからな
周囲の状態を
判断している
必然
別の器官を用いる
つまり……
両ヶ崎は匂いも声も
胸の大きさも
サメまっしぐら
ということだ
嬉しくない
評価だよー！

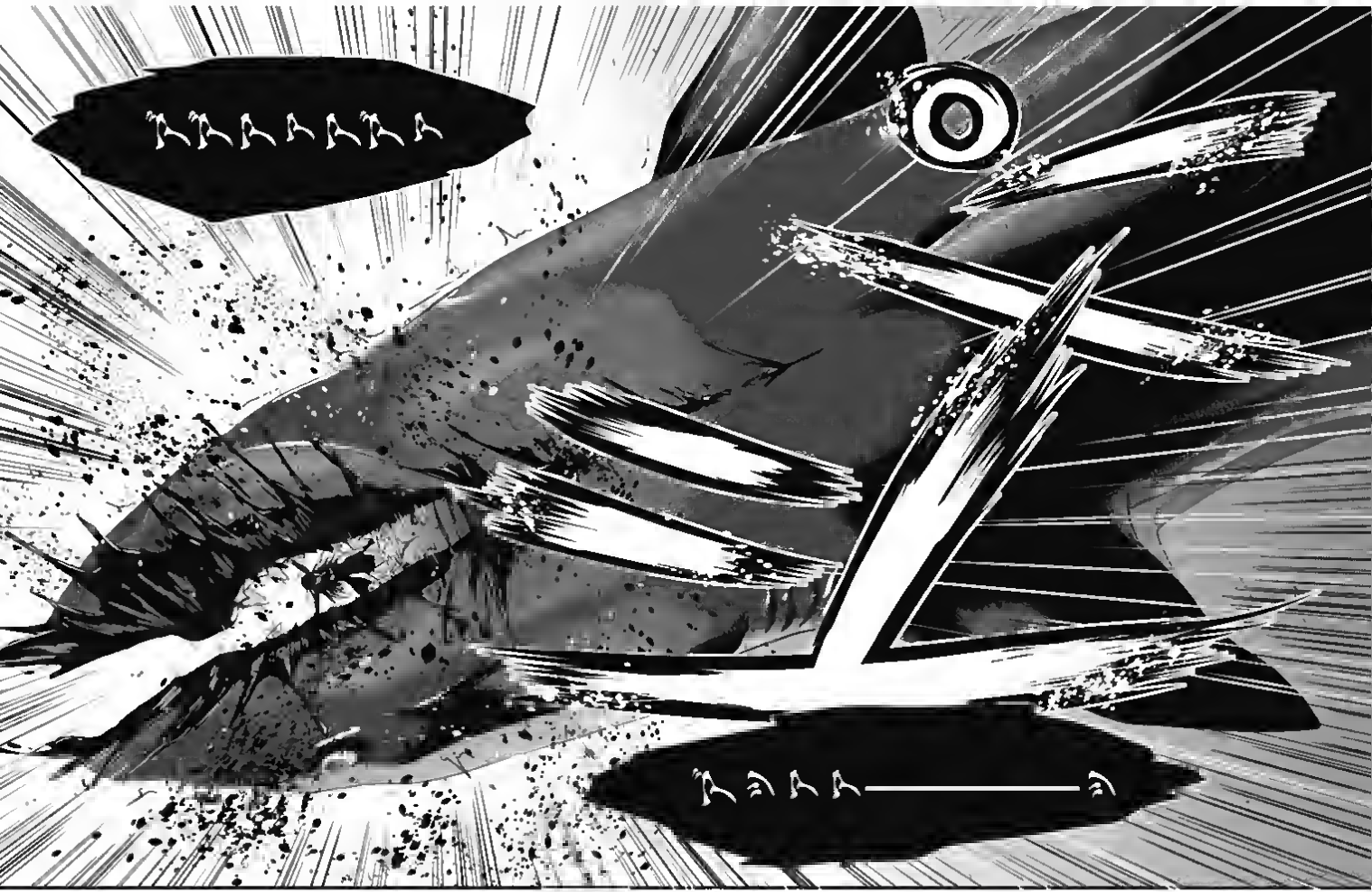
悠人
本気でやっていいのね？
中にまだ漁船が
あるかもしれませんので
腹を引き裂いて下さい
了解したわ

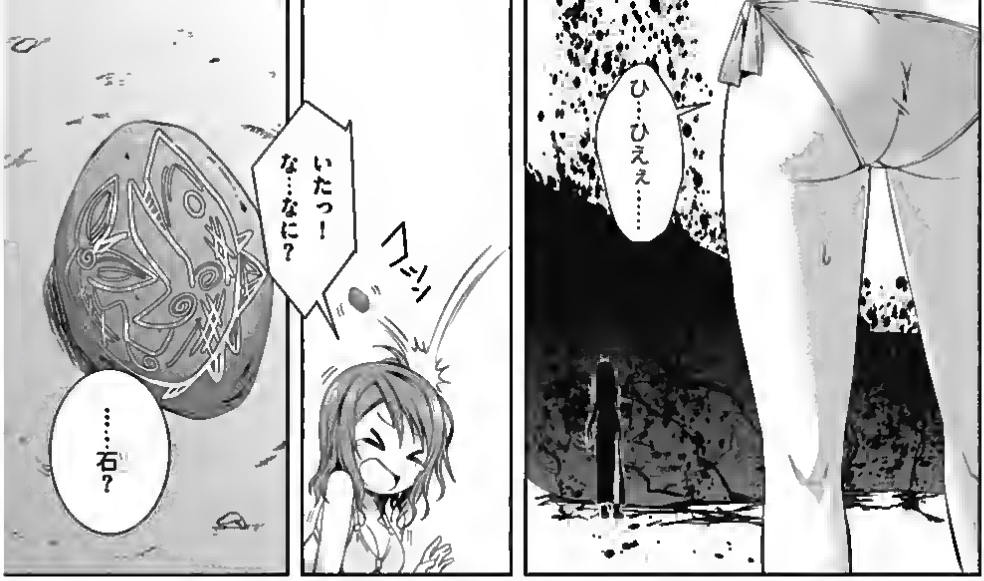

キサマ――
キサマモ
我ト同ジ
高位感染体ノ
ハズ！
ナノニ ナゼ
【機密管理者】
ナドニ従ウ――

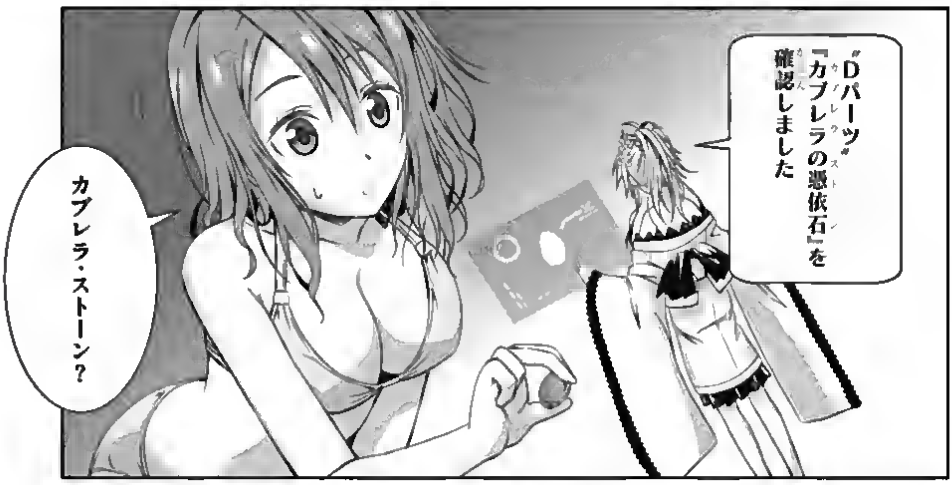
そんなもの
悠人を愛しているからに決まってるわ
シャアアア!!
死ネエエエエ!!
や…夜々子先輩っ!!
――再帰なさい――私の宝物……

えええええっ!?
あ…あんなの
止められるの!?
古代に存在した巨大サメ
メガロドンの顎の力は
18tだそうだ
だが……
バキッ

夜々子先輩は
それを上回る
圧倒的な膂力
その力
20t以上
ギシ
魚は大人しく
ひらきに
なっていなさい
ガッ……
ヤメ……ッ!!
ギ…ア
アア…
アアッ
ぶちぶちぶち




ひ…ひえぇ……
ゴッ
いたっ！
な…なに？
……石？


〝Dパーツ〟『カブレラの悪依石』を確認しました
カブレラ・ストーン？

これが？
持ってるとお前もでかいサメになるぞ
ひゃあああっ!?

あ…あれ
……漁船？
生体反応も確認
漁師も
生存している
様子です
そうか
ならこの
「真紅の前夜」は
解決だな
スッ
フッ

夜々子先輩
お疲れ様でした
ふう……
うわ～

魚臭いから
お風呂に
入りたいわ
近場で温泉でも
探しましょう
混浴が
いいのだけど……

それは俺の我慢が
大変なので嫌です
私は一向に
構わなくてよ？
ええ…ッ
ちょっと…っ!?
言いてきぼり!?

ま…待って待って！
こんな島に置いていかれても困るよー

それにしても……
護守って凄い人だったんだね

別に凄くないさ

お前の胸の方が凄い
ガーン
ってまたどこ見て言ってるわけ？

胸は大好きだからな
ムキッ
キリッとした顔で言うことじゃないからね!?
千瀬によって浅瀬が本島まで続いていますから現在なら帰還可能です
マジで!?
良かったぁー

さて
管理者さんは
一体いつ気付くかな？

あの子の持つ
"Dパーツ"の
存在に……

早く気付いて
なんとかしないと
かつての古代文明
みたいに
この世も終末戦争が
起きちゃうよ？

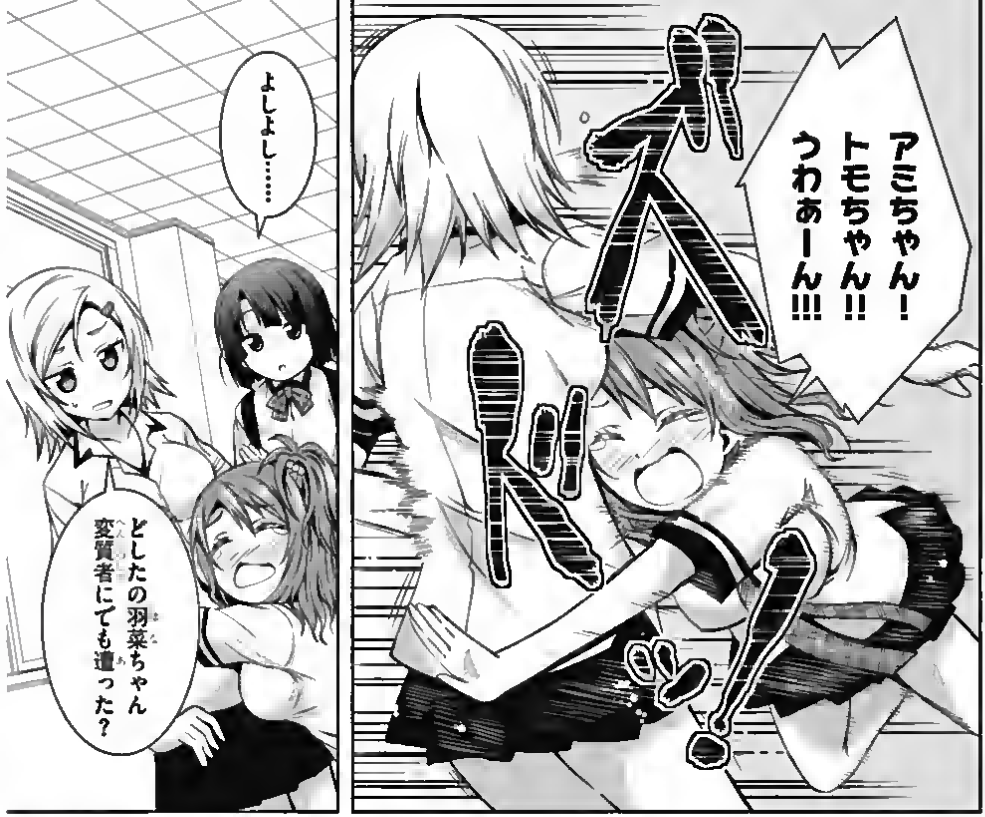
……彼女が大事にしてるインコ……
第2節『アカンパロの石像』(スタチュー・オブ・アカンパロ)
少し可哀想だけど痛くしないから…
この『アカンパロの石像』……彼女と管理者さんはどう対処するかな？

高等部二学年
夏期休校登校日
さーて
ピヨちゃんに
エサをあげよーっと！
旅行中
会えなかったし
寂しがってるかな？
元気だといいな～

旅行中
って
小屋が壊されてるー!?
あわわ
誰がこんな
ひどいことを…
そうだ！
ピヨちゃんは無事!?
ピヨちゃ――
フッ!!

コロン
ひゃわーっ!?
な…なっ
なにこれええええぇー!?

2－1
おっはよー
トモちゃん
うん
おはよ～
ん？
朝から
何の音だろ…？
ドドドド
びえええええっ
ドドドドドドドド
!?
わ…っ
おはよー…って
凄い顔と勢いで向かって
来るんですけど!?


アミちゃん！
トモちゃん!!
うわぁーん!!!
よしよし……
どしたの羽菜ちゃん
変質者にでも遭った？

それがね！
飼育小屋が壊れてて
ピヨちゃんがいなくて
ニワトリが石にーっ!!
お…おう？
ピヨちゃんって
ハナハナが世話してる
インコ？
そうなのーっ！
ピヨちゃぁぁん!!
テク
テク

ガラ
あ…
鍵守…

やっぱりこれって…
あいつに
相談した方が
いいことだよね

「真紅の前夜」
だっけ…
ニワトリが
石になっているなんて
絶対普通じゃないし
ヒヨちゃんも心配だし…
じぃ…

羽菜ちゃん……
変人の鍵守に
熱い視線を向けて
どうしたの？

あれ？ でも羽菜ちゃんってあの変人と接点あったっけ？
それはその……話せば複雑というか……

むふふ……スキャンダルの予感……？
甘酸っぱいのう…
誤解だよ！ そういうんじゃなくって!!

およ？ 噂をすればこっち来たよ
え…？
ツカ
ツカ
パンツ

な…なに？
茜ヶ崎

お前に
大事な話がある
へっ？
おおお！

美柳と鎖々塚…
これ借りていくぞ
えっえっ…
これ!?

ハナハナは……
ああいう強引なタイプに
コロッといくタイプとみた
あ！……まあ
鍵守は変人だけど
顔はまあまあだもんねえ？

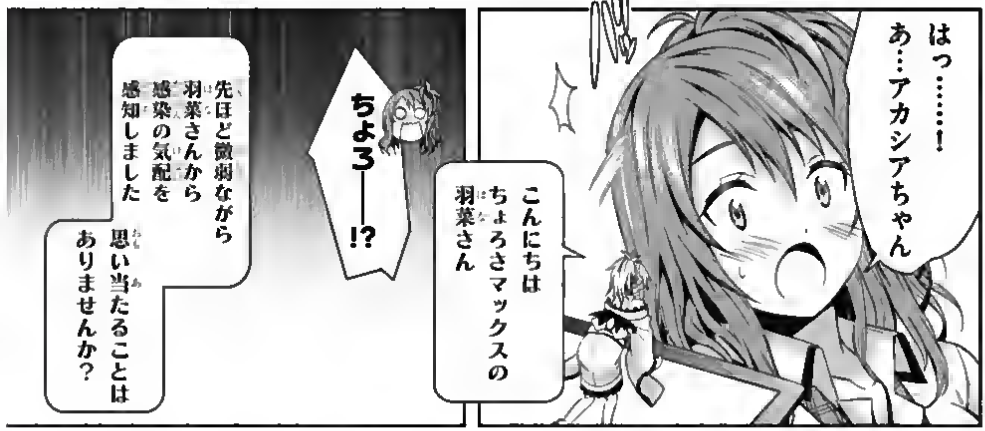
あぁぁ――っ！
ぜ～ったい
アミちゃんと
トモちゃんに
誤解されてるよー！
…至って普通に
接したつもりだが？
今のは絶対
強引過ぎたし…
第一…
あたしと鍵守って別に
手を握って
連れ出すような仲じゃ…

強引でも構わない
な…なななな!?
俺の質問に答えてくれ…
頼む……

か…鍵…
守……っ
悠人……
近い近い
近いいいっ!!
女の子から
何かを聞き出す時には
壁ドンが最適だと教えたのは
確かに私だけれど……

やり過ぎると
逆効果よ
くすっ
くすっ
あ…
はにゃ～……
おい
大丈夫か？
しっかりしろ
茜ヶ崎！
ゴゴゴゴ
いいから
悠人さんは
離れてください
ピッ
…今日もいい
ボインだな
たゆん

マスターの
至らなさを補うのが
私の役目です
起きてください
羽菜さん…
少し尋ねたいことが
あるのですが
ブゥーン


はっ……！
あ…アカシアちゃん
こんにちは
ちょろさマックスの
羽菜さん
ちょろ――!?
先ほど微弱ながら
羽菜さんから
感染の気配を
感知しました
思い当たることは
ありませんか？

聞きたかったのって
〝Dパーツ〟のこと
だったんだ……
ニヘキニヘキ
あ…あたしも鍵守に
相談したかったんだ
あのね？
ピヨちゃんに会いに
さっき飼育小屋に
向かって…
ピヨちゃん？
飼育委員が
飼育小屋で飼っている
インコのことね？
そ…そうです！

あたし飼育委員だし
夏休み中も
世話をしに来てて
この間の旅行前まで
大丈夫だったのに
小屋は壊されてて
ピヨちゃんもいなくて……
怪我してるのを拾ってきて
やっと元気に飛べるように
なったのに……

それに
ニワトリたちが
石に……
なんだと？

アカシア
既に該当能力の
〝Dパーツ〟を
検索しています
これは――
どうした？

88％の確率で
『アカンパロの石像』の
効果による
石化現象とみられます
『アカンパロの石像』……？
それは確か
他の機密管理者が
封印して保管したはず
はい…ですが現在
保管庫には
存在していません

……何者かが
保管庫管理者の目を盗んで
奪って使った…
とみるべきかしら
俺達の管理外か
……厄介だな
あのぉ……
じゃあ
これもやっぱり？

ああ……
『真紅の前夜』だ
この短期間で
二度も『真紅の前夜』を
体験できた民間人は
羽菜さんが初です
ガクッ
そんな初めて
嬉しくない…

とりあえず
その飼育小屋へ
行ってみるとしよう
コクッ
あ…
キーン
コーン
授業……
サボっちゃった……
こっちの
飼育小屋だよ！
向こうに
石のニワトリが
いっぱいあって――
ドンッ
きゃっ

いってぇなぁ
おい
うわわっ
どうした？
お…なんか
カワイイ子
いるじゃん
てめぇらも
サボりかぁ？

あ…あはは…
ちょっと飼育小屋に
用事があって
えっと……
なに!?
もしかして隠れて
エロいことすんのか!?

はぁっ!?
ち…ちがっ！
おい！
しかも女二人も
連れてやがる！
複数プレイかよ!?
俺たちとも
遊ぼうぜぇ？
ハァ
ハァ
よく見るとこの子
やたら胸でかいぜ
うへへ…

ギリ
ギリ
ガッ

…何しやがるてめぇ！
忠告だ
ここは危ないから一刻も早く立ち去ったほうがいい

はぁ!?意味わかんねぇこと言いやがって！
喧嘩売ってんのか!?女侍らせてムカつくからやっちまおうぜ!!

……本当に危ないんだが…困ったな――
悠人……
遅かったみたいよ

何ゴチャゴチャ言ってやがる！ ああん？
へへ……覚悟しろよお？おま――
え？

おうわあぁぁ
なんだアレエエエ!?
と…鳥(とり)いいいい!?

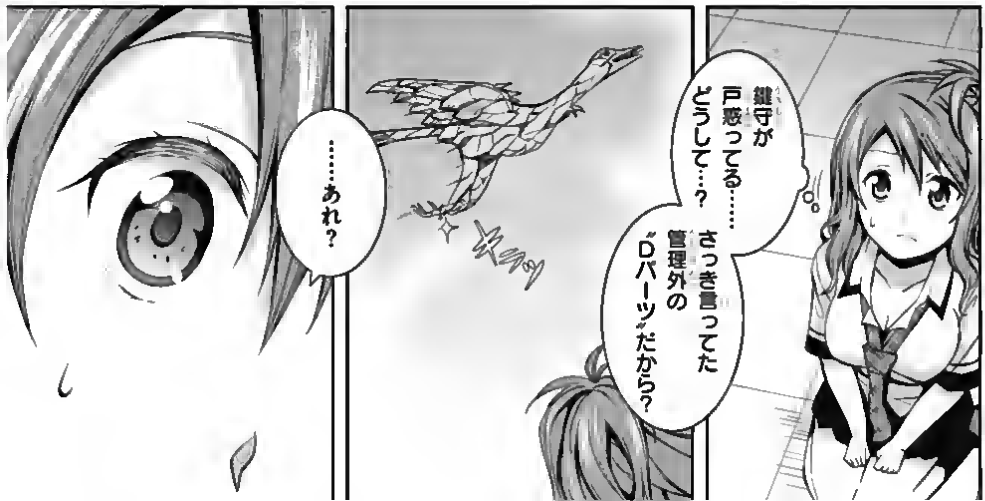
ピュー
ひっ！
カッ
ピ
ピ

ひっ…うんっ
……静かに
大声に反応して
そこに向かって石化の
光線を浴びせるようね
そ…そうなんですね
って近い近い近い！

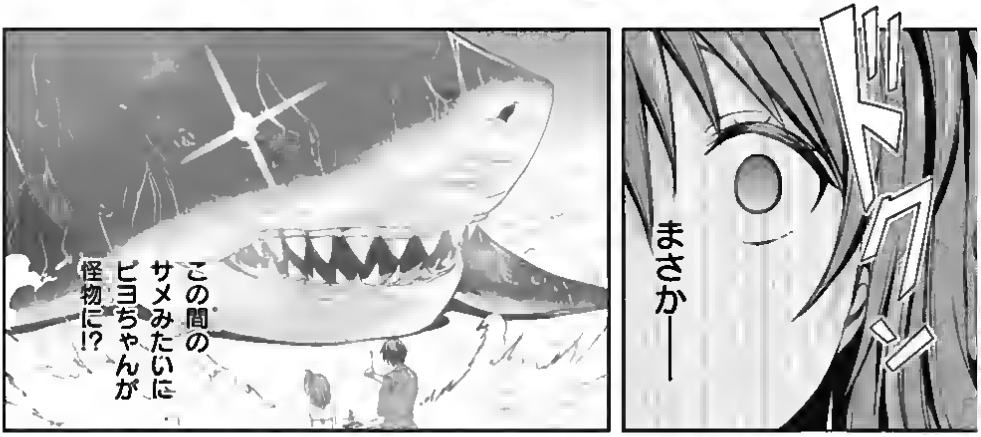
やはり
『アカンパロの石像』
のようだな……
マスター…
まだ『遺産博物館』からの
連絡がありません…
ぐっ…
仕方ない…
気付かれないように
物陰に移動するぞ
茜ヶ崎……
ゆっくり
落ち着いて歩け
う…うん……

うぅ……
人間が石に
なっちゃうなんて
なんでまた
あたし
こんな目に
すまないな
茜ヶ崎
こうなる前に
帰すつもり
だったんだが

か…鍵守たちなら
何とか出来るんでしょ？
確かに…
倒すだけなら
難しくは無い…が


鍵守が
戸惑ってる……
どうして…？
さっき言ってた
管理外の
〝Dパーツ〟だから？
……あれ？

どうした茜ヶ崎？
ピヨちゃんの……ネームタグ？
あれって……


この間のサメみたいにピヨちゃんが怪物に!?
まさか――
ドン

ねえ…っ！
おい茜ヶ崎…動くんじゃない奴に近づくな
ピヨちゃんなの……？
スゥ…

ピヨちゃんなの!?
ねぇったら!!
キロッ
夜々子先輩(ややこせんぱい)っ!?

ぐうっ！
パキッ
パキッ
パキッ
高位感染体まで
感染させるなんて
結構強い子なのね
この子……

あ…
あたしを庇って…
ご…ごめんなさい
ごめんなさい
夜々子先輩……
ピキッ
パキッ
ペキッ
いいのよ……でも
悠人の言うことは
聞きなさい
…九?

それでどうするの
悠人?
茜ヶ崎…
あの鳥は
お前にとって
大事なんだな?
え…?
うん…

チャッ
…そうか

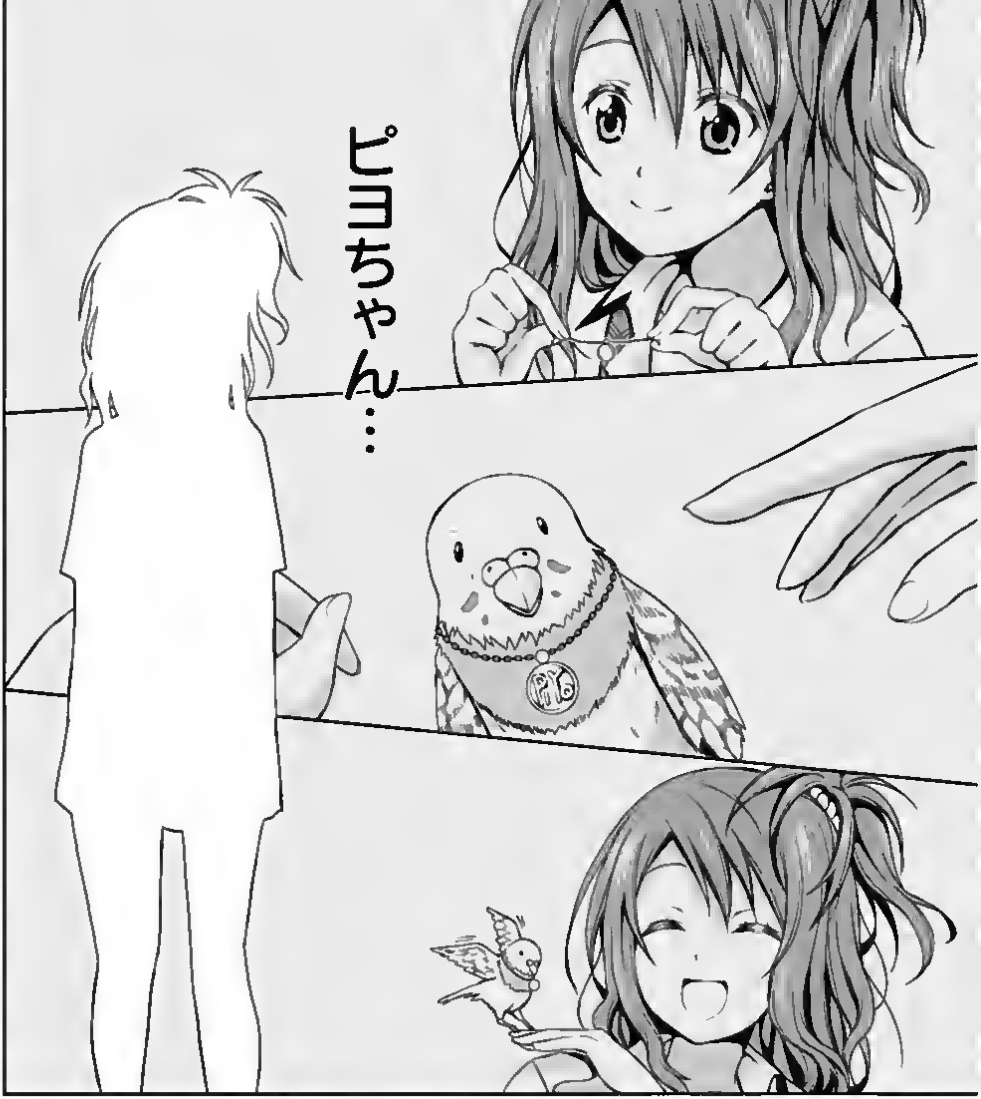
再帰せよ（レキュアランス）
『バビロンの空中庭園（バビロンズ・ガーデン）』
え!?
ちょ…鍵守！
まさか
ピヨちゃんを!?
内部から
外側にかけての
重力操作……
出来るかアカシア?

可能ですが――
…わかりました
重力反転演算開始します
ギュルル!!
ドン!!

アギャアアアアアア!?
ピヨちゃん!!

三人を石化し
俺の大事な夜々子先輩まで
石化しつつある
放っておけば
更に被害も広がり
取り返しのつかないことに
なるだろう

だから早々に倒さねばならない
それがなんであろうとだ
ま…待ってよ鍵守
ピヨちゃんだってきっと好きでこんな――
茜ヶ崎
「真紅の前夜」の始末をつけるのが機密管理者としての俺の仕事だ
……お前は俺を恨んでくれていい…
あ…う……


ピヨちゃん…

……分かった
ピヨちゃんを……楽にしてあげて

…いいのか？
よくないよ！
でも…あたしじゃ
ピヨちゃんに
何もしてあげられない
ぐぃっ

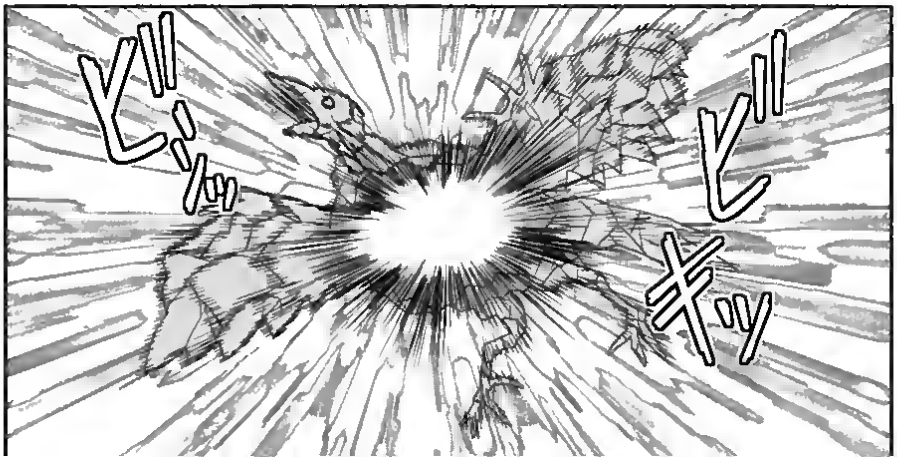
なのに護守に
全部押し付けて……
怨むなんてダメだよ

ピヨちゃん…
好きでそんな姿に
なったんじゃないんでしょ？
なのにゴメンね…勝手だよね
ヘキッ
ピヨ…

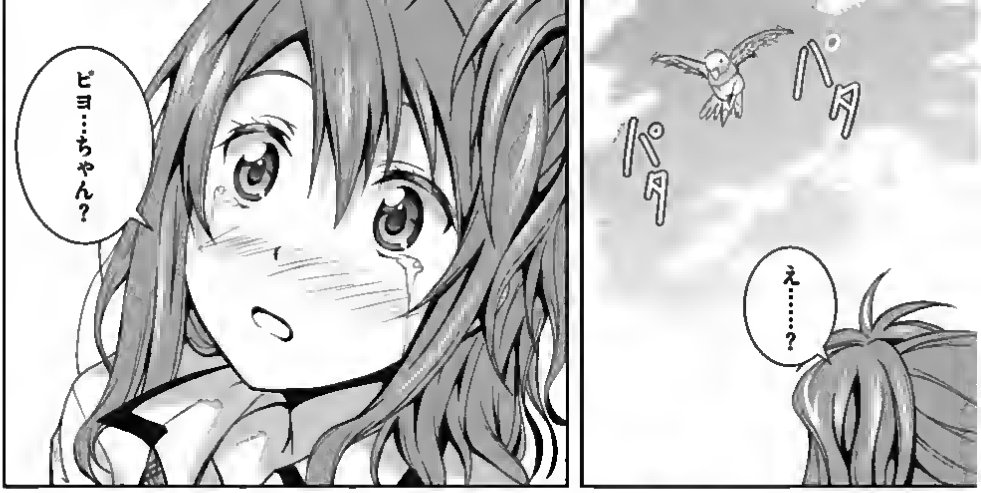
あたしの決断で
怨まれなきゃ
いけないのは
あたし
謝らなきゃ
いけないのは
あたし
何にも出来ない
ピヨちゃんの
飼育委員だけど……

あたしの決断は
あたしの責任だもん！
フッ
もう一度
その感染力を再帰せよ
「バビロンの空中庭園」!!
悠人さん――
構わない……
茜ヶ崎の言葉じゃないが
俺の責任は俺が取る

なにより
女の子を
泣かせたままじゃ
格好悪いからな
――了解しました
マスター
内部からの
重力操作
……最大！


ビッ
ビッ
キッ

ごめんね
ヒヨちゃん…
本当にごめんね…
あたしの大事な―
チ
チ
チ


パタ
パタ
え……？
ピヨ…ちゃん？

パタタ…
……音で敵を
判断していた
ということは…
フッ

本体は目や光で
対象を捉えてはいない
つまり
石像に包まれた本体があり
その周囲の石像さえ破壊すれば
本体は無事だと読んだ
加えて夏休み中に
Dパーツに感染したと
考えれば期間が短く
助かる確率があった
まあ…幾らか
賭けではあったが
何とかなったようだな

『アカンパロの石像』
完全消滅しました……
ですが…許可なく
『遺産博物館』管理の
〝Dパーツ〟を
『消滅』させたのですから
『遺産博物館』からの罪の言及は
免れるものではありません
ヴン

悠人……
わかっているさ
アカシア
夜々子先輩…
ズズ

あ…あの
雛守
えっと…
ピヨちゃんを助けてくれて
あ…ありが――
茜ヶ崎
ワタッ

お前は胸だけじゃなく性格もいいんだな
そ…うかな
トクン
……って胸だけじゃなくって何ー!?
うがー!
くるの
さて今回の「真紅の前夜」は終わりだ
後は夏期講習を受けるだけだな

……ありがとう
それじゃあな
え……
あたしが
ピヨちゃんのこと
ありがとう…なのに？

なんて？

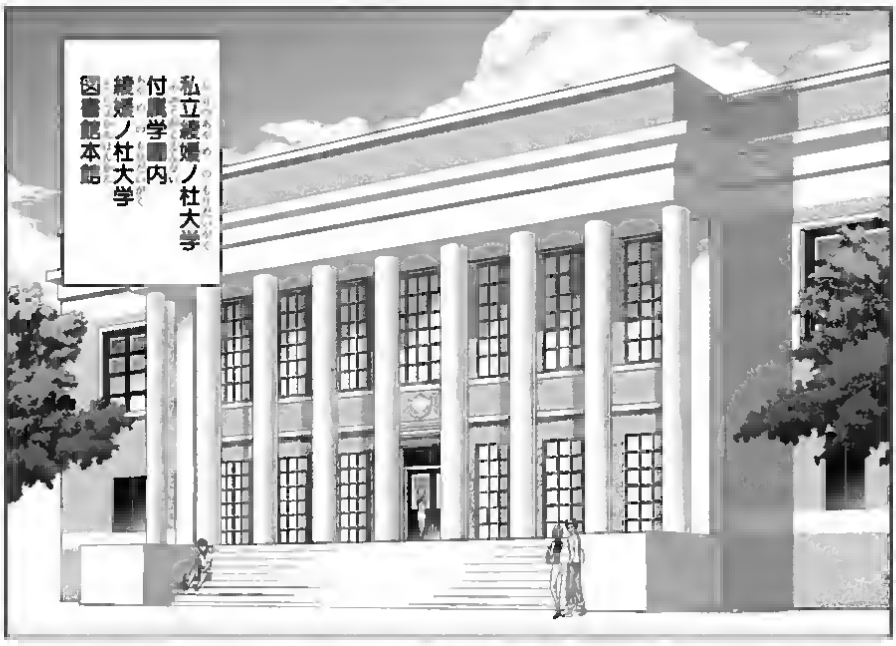
ん……
ピクッ
生徒会室
感染体の
消滅反応ね……？
しかも
消滅させたのは……
バビロンの力…だわ

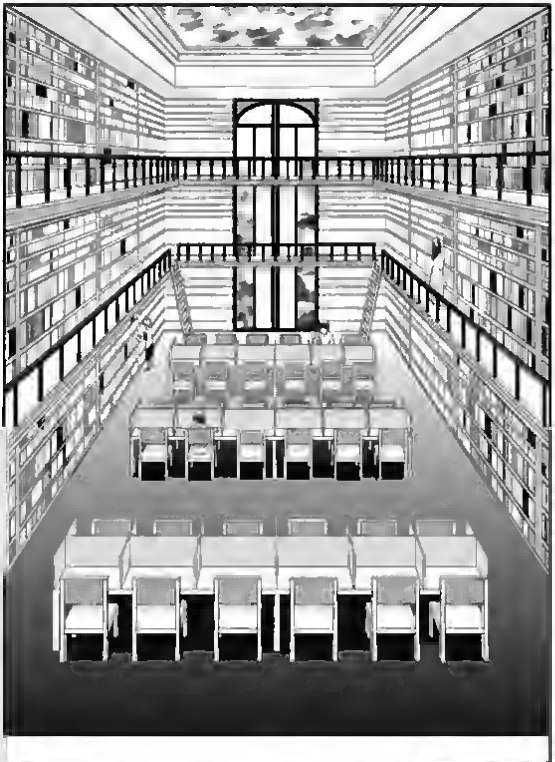
——管理者会議の必要性があります
ええ

鍵守悠人の今後について——ね

第3節『アラハバキの宇宙服』-1（アラハバキ・スペーススーツ）

面白いことを言うのね……人間の少年……
なら……この私に見せてみなさい
人の子の……生の強さを


私立綾媛ノ杜大学
付属学園内
綾媛ノ杜大学
図書館本館

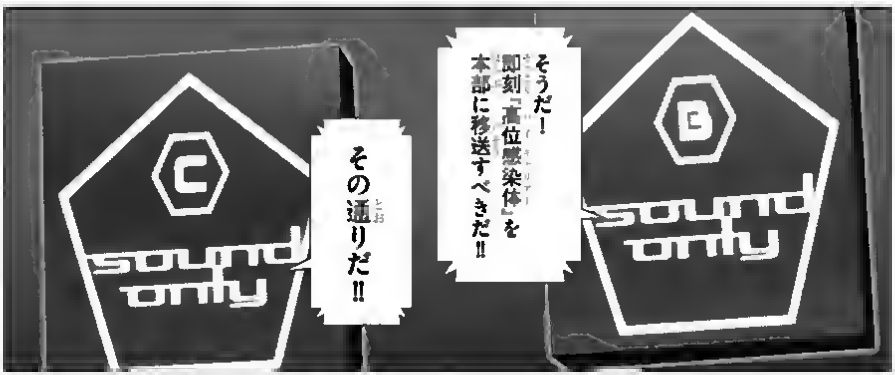


遺産博物館
檀東第一支部会議室
では鍵守悠人の処遇は
二週間の管理者権限の停止
並びに管理補佐任務となります
その間の
所持・Dパーツ・並びに
契約高位感染体の使用を
不可とします
私立綾瀬ノ杜大学付属学園
中等部二年一組
機密管理第一階級・遺産管理長
檀ノ杜詩姫

納得出来んな！
独断専行で遺産回収に
向かったばかりか
保管遺産の破壊……！
これらは重罪にあたる！
即刻我ら
「遺産博物館」から解雇し
その者の遺産を
押収すべきだ！

……現状残り四つの
「カプレラの憑依石」回収は
機密管理者の急務…
彼等の力が必要です
また
「アカンバロの石像」の
破壊行為も
被害縮小のための
判断と捉えます

しかし
その者は『咎人』だぞ
管理長!!
そんな者を使い続けろなど
極東第一支部は
無能の集まりか!?


そうだ!
即刻『高位感染体』を
本部に移送すべきだ!!
その通りだ!!
sound only
sound only

私ってば
生徒以外にも
人気者なのね
夜々子先輩のスタイルは
破壊的凶器ですからね
……お静かに
お二人とも
……本日の議題は
「鍵守悠人の処遇」
であると
通達したはずですが
だが
管理長……!

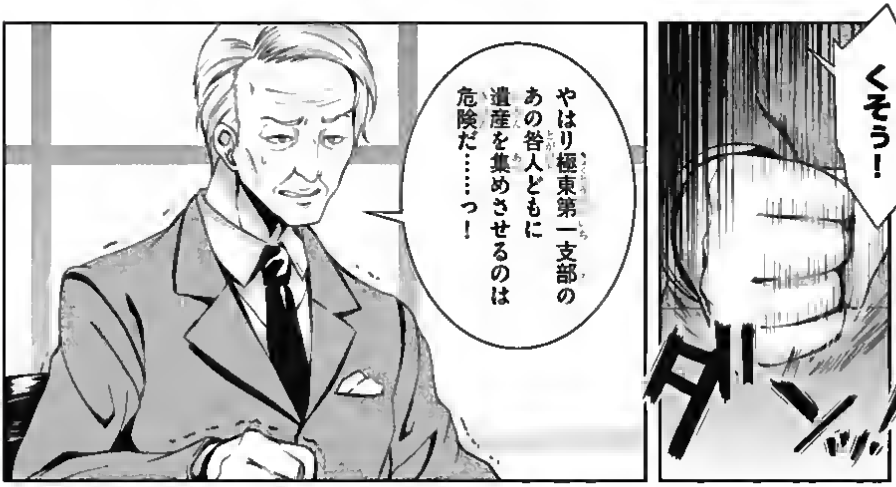
本日の議題に
各支部で頻発する
「保管庫より
"Dパーツ"が盗難される」
という案件についての
責任問題の追及も含める
そういう進言でしょうか？
ぐっ!!
D
C
B
A
sound only

……他の議題が無ければ
管理者会議を終了いたします
苦労をかけて
すまない管理長
いえ……
お二人とも
お疲れ様です

私は悠人の謹慎期間中
全ての力を
部屋に封印しておくわね
はい鍵
承りました

……お二人には
不自由をおかけして
申し訳ありません
それで
鍵守さんが補佐をする
機密管理者ですが……
…夕凪さんです

彼女を宜しく
お願いします
…そうか
夕凪か
ああ
任せてくれ
ヴゥン


くそう！
ダン！！
やはり極東第一支部のあの咎人どもに遺産を集めさせるのは危険だ……っ！

その咎人の始末——この私めにお任せを支部長
おおお貴方は……！
そのような危険な者達を放置するなど言語道断
この私が見事打ち倒してみせましょう

我ら「遺産博物館」の
正義の為に
え？
これが鍵守の
家なの……？

あら
美味しそうな
気配と思ったら
早速来たのね
あ…夜々子先輩っ！
なんか
アカシアちゃんから
メールが入って……
教えてないのに
マスターの
至らない点を補うのが
私の役目です
そろそろちゃんと
説明しますので
是非家まで来てください
今悠人はもう一人の来客の
相手をしているわ…
こっちよ
もう一人の？
ひゃあああー！

…え…な
何です？
今の悲鳴…
あらあら
悠人たちのいる
庭からね

やっ…ダメ…
自分で
入れるから……っ

心配するな
優しく入れてやる

む…無理だってば
痛いし……
怖いってば……！
大丈夫だ
俺を信じろ……

――って
何(なに)やってんのー!?
む？
ぐぐ…
え…
あ……！

はいはい
お邪魔しました～
違うし！
これは別に
やらしーこと
とかじゃないし!!
そうだぞ
茜ヶ崎

見ての通り
コンタクトレンズを
入れてやろうと
しているだけだ
ぱっと見ても
わかんないよ！

ま…まぁ…
いくらなんでも
やらしーことしてるとは
思ってなかったけどっ
あら
その割には凄い勢いで…
あーあー！
それで誰守
この子は!?
ああ
紹介しよう

中等部二年で
現中等部生徒会長
鎮宮夕凪だ
…どうも
よろしく
それでセンパイ…
この人が？
ああ…
サメの事件の時も
鳥の事件の時も中心に
巻き込まれていた
胸のでかい同級生の
茜ヶ崎羽冥だ
うわっ!!
ちょっ…紹介しないでよ!?
私立緑風ノ杜大学付属学園
中等部二年一組
機密管理第九階級
鎮宮夕凪
どうやら茜ヶ崎のボインは
感染体やDパーツを
惹きつけるらしい
…そうなの？
濡れ衣だよ!?

「真紅の前夜」を
知ってるなら話すけど
私も機密管理者よ
夕凪でいいわ
羽菜センパイ
う…うん
よろしくね夕凪ちゃん
実は前回の事件での
俺たちの処分が決まって
今はこの夕凪の
補佐役なんだ

え？
前回の事件の
処分って……
貴女も関わった"Dパーツ"
「アカンパロの石像」が
引き起こした事件ね
許可も得ずに
勝手に"Dパーツ"を
消滅させちゃった
訳って

うぅ…ごめんね
鍵守
あたしのために……
気にするな
茜ヶ崎
そうね
そもそもしっかり
保管庫の管理が出来ていれば
起こらなかった事件だものね
でも過剰で報復とかは
気にしないよ

あ…それで
その盗んだ人とか
分かったの？
それを調査する
担当に
私がなったのよ
上の尻拭いとか
いい迷惑よ
中等部の子で
生徒会長で
鍵守と同じ
機密管理者…
てっきり同い年かと
思ってたよ……
綺麗な銀髪だし
ハーフなのかな？
あれ？
そういえばこの子
なんとなく雰囲気が
アカシアちゃんに
似て——
それにしても

な…何？
「真紅の前夜」に
短期間で二度も
巻き込まれた
一般人ね……
ほんとに
胸のせいだったりして

安心しろ夕凪
お前のは大きさより
形重視タイプだ
そ…そういうの
気にしたわけじゃ
ないし！
あ…あたしだって
あのおっきい
サメに襲われたり
ピヨちゃんが
大きな鳥になったりで…
どうしてあたしの周りが
こんなことになるのか
きっちり
説明してもらいたいよ！
…そのつもり
だったのですが

羽菜さんには
すごく言い難い
ことなのですが
今正に高位感染体が
接近中です

やはり
胸…
間違いないわね
え？
ほんとに？
だから
違うってー！

「冗談はさておき…
茜ヶ崎
持っていろ
落とすなよ
ふえ？
ターン

!?
ひえええっ！
ズル…
マスター
もう一本
あります
……先に言っておく
二人とも――
スマン

きゃんっ!?
ひゃわっ!?

ふう…
スリップ
ドン
茜ヶ崎は
素晴らしい柔らかさと
弾力だった
夕凪は
まだ硬さが残るが
いい形をしていた
体を逸らすためとはいえ
本当にすまない……が
ご馳走様でした

そんな感想とかいらないわよ!?
ポカッ
ポカッ
またお礼の言いづらいことをっ!!
不本意でしょうがみなさん
エッチな人の誤弾は一旦止めて注意してください
本体が来ます
ゴゴゴ

これは…っ
ひえええ……
該当〝Dパーツ〟確認……マスター！

ウィィィィン

〝Dパーツ〟
『アラハバキ(スペーススーツ)の宇宙服』です
オオ
オオ

ふふ…
先の二撃は
挨拶のようなもの
さあ咎人
鏡守悠人

この私
『機密管理第五階級』
ウィルフレッド・
ルース・フォスターが
我が剣の真なる力をもって
正義を執行しよう
私のアラハバキに
どこまで対抗
出来るのか――
機密管理第五階級
ウィルフレッド・ルース・フォスター

見せて
ドン
貰うぞ！

第4節『アラハバキの宇宙服』-2
(アラハバキ・スペーススーツ)

とう！
ふ…危険視されているといってもこの程度か……

！
――ほう？

……この戦闘行為には
それ相応の理由があるのよね？
機密管理第五階級

盾……それが
機密管理第九階級が
持つ"Dパーツ"か？
私の正義の一撃を
防ぐとは中々やるな
いきなりの襲撃
無許可の戦闘行為…
それも民間人を
巻き込んでの
ものなんて
正義が聞いて
呆れるわね

フッ――
この聖なる
正義執行の戦に
不意打ちも多少の犠牲も
致し方ないのだよ
支部長の懸念する
「咎人」の存在……
それを排除することが
優先事項だからな…ッ

あんなバカの方が
階級が上とか
頭が痛いわ……
か…管理者って
鍵守たちの
仲間じゃないの…？
イラッ

…夕凪
分かってる…

なるほど…
俺を嫌っている
「遺産博物館」の
貴族の差し金か
夜々子先輩も
無事……となれば

ひゃわわっ!?
逃がさんよ『咎人』！
させない…ッ『アッシリア』！

む…!?
センパイ
早くっ!
どのような力か
わからんが
また防ぐか
ナインス
だがこの光の鞭は
もう一本
存在することを
忘れるな!
…頼むから
ジッとしていてくれ
茜ヶ崎
ふえ?
ガッ
ホ

避けるのは
得意なようだな！
だが噂に聞く「重力操作」と
高位感染体は
使わないつもりか？
……生憎と
今は使用できない身でな
聞いていないのか？

ええ!?
使えないって
どうして!?
前回の事件の
もう一つの処罰だ
ふん……
そう言えば私が手心を加えると
思っているのだな？
だが獅子は獲物を狩るときは
全力で挑むという…
故に手加減は
一切しないッ
ドガァ

お疲れ様
悠人
こいつらを頼みます
夜々子先輩
トン
それは
構わないけれど……
ありがとう
ございます
では俺は
戻りますので
あらあら
ズゥン
って…鍵守……!?
だ……
大丈夫かな…
心配無用です
羽菜さん

でもでも今の護守
不思議な力
使えないって
いってたよ…!?
しかもアカシアちゃんも
夜々子先輩もいないんだよ!?

……羽菜
あの程度の速度と力で
悠人が倒せるなら……
とっくに私が
食べていたわ
え……?

……私も最初は
悠人の敵だった
……ということよ
!?
……むしろ
相手の方が危険ね
あんな悠人を
見るの
久しぶりだもの
……きっと貴女を
巻き込んだことを
怒っているのね…
え……？

鍵守が怒って…？
大丈夫か夕凪
当然でしょ
むしろセンパイ狙われているんだから逃げて欲しいんだけど？
お前を一人にできるわけないだろ
うっ……
フッ……逃げずにいたことは褒めてやろう……！
だがこの私の「アラハバキの宇宙服」に勝てる道理などは——
先に言っておく

その高位感染体は破壊させて貰う
ゾクッ
はッ…
ハハハハ！血迷ったか！
ただの感染体とは訳が違うのだぞ？
先ほどから防戦一方の貴様に破壊など……笑止千万！

夕凪
後は俺に任せて
お前は――
逃げろっていうなら
お断りよ

センパイは回避は出来ても
あいつの攻撃自体を
防ぐのは無理でしょ？
回避すればするほど
被害規模が広がるだけ
私のDパーツなら
少しは被害を抑えられるし
センパイへの攻撃も
防げるわ……

そもそも
センパイは
間違ってる

センパイは今
私の補佐役なの
ちゃんと二人で
あのバカな機密管理者と
高位感染体に
目にもの見せるわよ
…そうだな……
ならタ凪に防御は
全て任せよう
よろしい
……タ凪は
いい女になったな
は…？
はぁッ!?
どういう意味!?

大きさはそこそこだが
形のいい胸をしている
だけはあるということだ
いくぞッ
ちょ…！
ああもう……！
あれさえなきゃ
ほんとに……もう!!
愚かな——
このアラハバキに
正面から挑むなど！
放て——!!

再帰せよ（レキュアランス）
『アッシリアの水晶鏡（アッシリアレンズ）』！

あっしー あれんず……？

それが夕凪ちゃんのええっと……？

Gパーツ？

〝Dパーツ〟です

羽美さんのムネにはたいへんおせわに

紀元前七百年頃
現在のイラク北方にあった
アッシリア文明の都市

ニネヴェの遺跡から発見された
世界最古の水晶のレンズです

木材や象牙製の物質を
覆っていた象嵌材の破片
と考えられ
レンズとしての効果は
偶然の産物……

との見解が
有力ですが——

〝Dパーツ〟としての
真の力は
『空間歪曲』
あの程度の攻撃なら
簡単に空間を歪めて
反らすことができます

光は粒子……
細かい粒で出来ている
つまり空間そのものが歪曲されれば
その影響を受けてしまうものよ
——まさかここまでの力を
ナインズごときの
ナンバーズが使えるとは！
ウホホ
だがこの程度では
終わらんよ！
いいや……終わりだッ

ええええっ!?
なにそのジャンプカ!!
マスターは幼少の頃から常に地球の重力の六倍近くの負荷をかけて生活していました
従って――
今の悠人にとって地球の重力は1／6くらい…月と同じ程度にしかなっていないのよ
と…『咎人』鍵守悠人ォ…ッ

どうして俺が「咎人」と呼ばれていたか——
その意味を教えてやろう
全ての「王具」を破壊する——
それが俺の…使命だ
感染源特定——

……紅騎(レッドナイト)

執刀（サージャン）ーッ

なっ……
私の高位感染体が
……一撃で!?
ぐあああああ!!!
『紅騎執刀（レッドナイト）』

……あれが悠人だけが持つ血の執刀――
この世の〝Dパーツ〟全てを破壊できる抗生作用――
文明すら侵蝕する力……
「咎人」の宿業…
か…鍵守…？
スッ
痛っ！

え……？
ポウ

「咎人」の力の波動を感じてついに……
彼女の胸に封じられている最強最悪の"Dパーツ"の封印が解かれ始めたみたいだね……

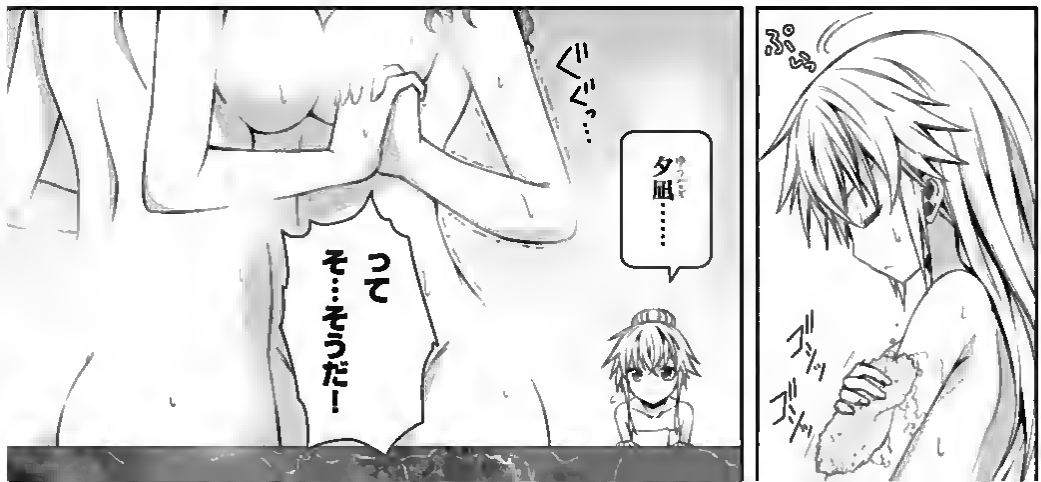
さあ羽菜ちゃん

共に我らが故郷
『墨瓦臘泥加』を
再び浮上させよう――

第5節『乙女の最高機密』（ガールズトーク）

羽菜……
高位感染体の血をちゃんと洗い落とせたのかしら？
ひょわあっ!?
ぱっ
や…夜々子先輩何を……ッ!?
貴女もあんなロボットになってしまうかもしれないからチェックしてあげないと？
なんで疑問系!?
モニィ

あらあら
ここもここも
結構凄いのねぇ
ふぁ…んんっ
ち…ちゃんと…
洗いましたからぁ
ん…そこはっ
触らないでくだ…
ひゃん！


ぷっ
ブッ
ブッ
ぐぐっ…
夕凪……
って
そ…そうだ！

あたし
話を聞きに
来たんだよっ！
セクハラされに
来たんじゃないよ!?
悠人の好きな
タイプとか
かしら？
マスターの
好みのタイプは
胸の大きな人です
そ…
そうじゃなくて！
胸……

あたしが事件に
巻き込まれてる
理由というか…
ああ……
その件でしたか

それで？
この美味しそうな子は……
どうして私からも
こんなにも
美味しそうに
見えるのかしら？
ブンブン

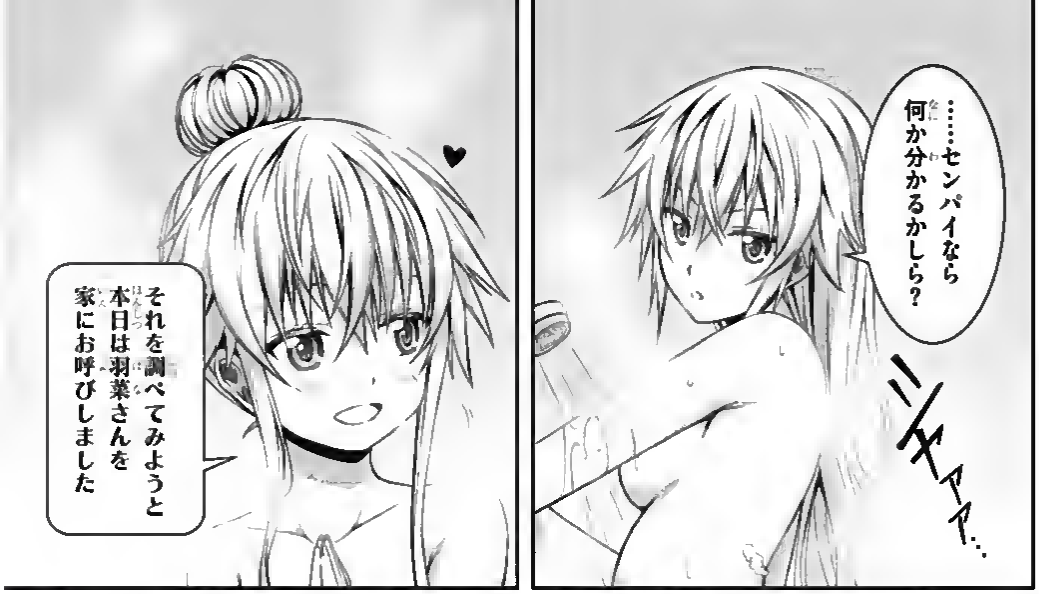
…まず羽菜さんが
巻き込まれた最初の
『真紅の前夜』
なにこれー

あのサメは
明らかに羽菜さんを
狙っていました
ガチッ

そして彼女が
面倒を見ていた小鳥が
盗まれた遺産に感染…
この二度目の
『真紅の前夜』は
狙いが顕著です
ピヨちゃん…
ガチッ

……これは私の
推測なのですが――

羽菜さんは
なんらかの
Dパーツ所持者
もしくは
高位感染体に狙われる
何かを所持している
可能性があります
そ…
そんなこと
まったく
身に覚えが……
些細な事柄でも
なにかありませんか？
ポウ。
…まさか…ね


……センパイなら
何か分かるかしら？
シャアアア…
それを調べてみようと
本日は羽菜さんを
家にお呼びしました

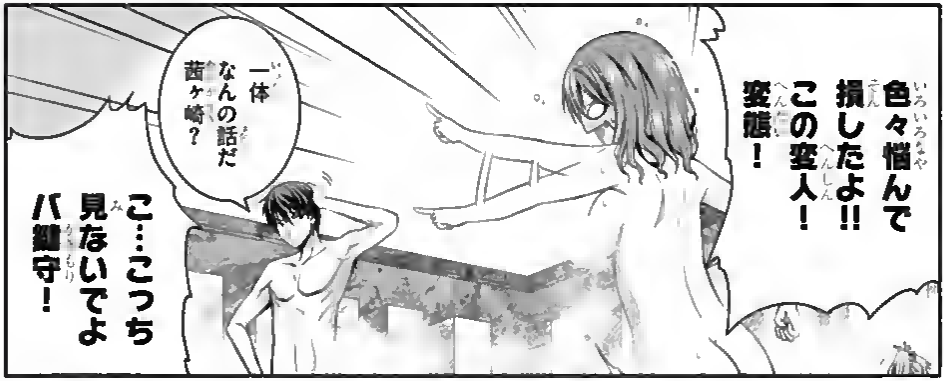
マスターは
感染源の特定ができる
『目』を所持していますので
鍵守が……？
ちゃぷ

あ…あのね？
…今はその……
あんな鍵守見た後だと
なんとなく…ね？
近寄り難い
っていうか――
ガ
ク
ン

俺がどうかしたか？
んえ…っ!?
ん？
まだ洗浄作業中
だったか
…まあいい
ペチーン!
スタ
スタッ
ひっ…!?
むっ

ドサッ
!?
むにゅ
……すまん夕凪
先に言っておくが――
これは不幸な事故だ…
怪我はないか？
こ…
こくぁ…
だが…むしろ俺にとっては
幸福な事故であるといえる
なぜなら一日に二度も素敵な
青い果実のような夕凪の胸に
触れることになろうとは天の
神様でも分かるまいというか
やはり直に触ると素晴らしい
将来性を感じるな夕凪の胸は
俺としても嬉しい限りだぞ

ぬぐっ
ナイス風呂桶…


色々悩んで損したよ!!
この変人！
変態！
一体なんの話だ茜ヶ崎？
こ…こっち見ないでよバ紺守！

ルンルン
あらあら
スイ～～。
……真面目な話は後ほどにしましょう

第6節『オルメカの巨石人頭像・1』（カベサ・オルメカ）

げ…
またかよ…
なんなんだよ
気持ち悪いな

……
あれ…？

う…うわぁぁ！

な…なんで…？
ここ…
さっきと
同じ場所じゃ――

タッ
タッ
タッ
また…ッ!
どうして…ッ!!
どうして
同じ場所に
戻ってくるんだよ!?
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ゾクッ

墨瓦臘泥加（メガラニカ）
うわあああああっ!!

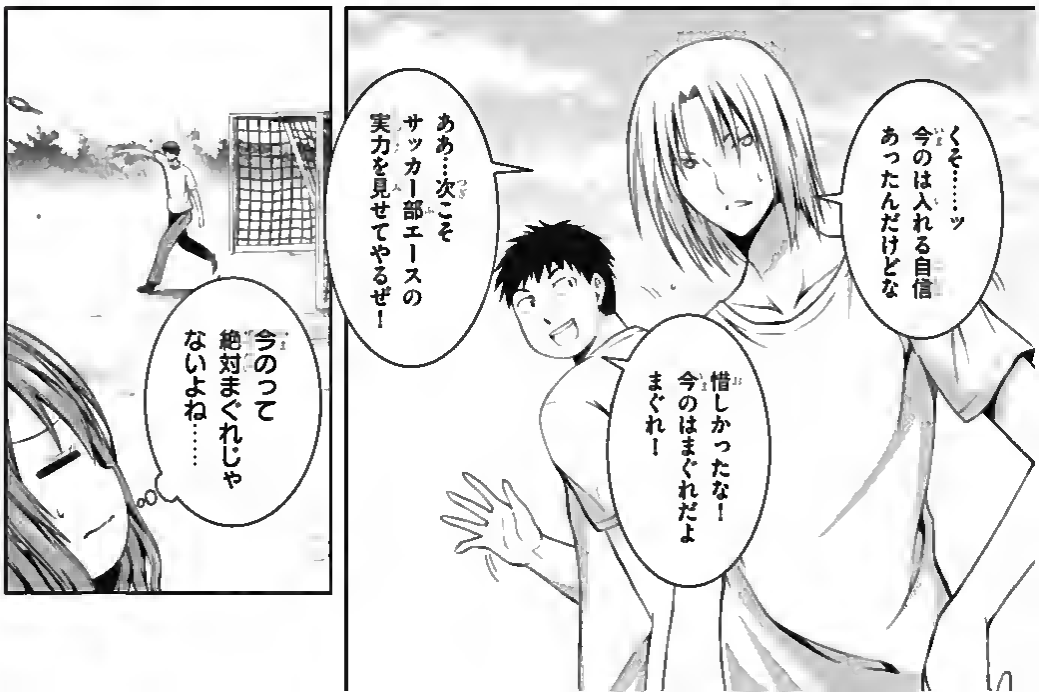
ふにゃぁ～
二学期始まっていきなり体育の授業とか疲れるー
男子はサッカーかぁ……ん？

あ…鍵守だキーパー？
？…あいつ目閉じてない？

いったぞ！悠人ッ!!

スッ

!?


くそ……ッ
今のは入れる自信あったんだけどな
惜しかったな！
今のはまぐれだよまぐれ！
ああ…次こそサッカー部エースの実力を見せてやるぜ！
今のって絶対まぐれじゃないよね……

鍵守…かぁ
夏休みから
あいつと関わって
ばかりだよ……

え…何も
なかった？
丁度マスターも
いましたし
マスターの目と
私のスキャン能力で
羽菜さんの身体を
隅々まで
調べたのですが……
特に異常は
ありませんでした
こっそり
過ぎるよ…
そして分かったのは
その大きい胸が
まだ発育中という事で…
若干殺意が芽生えました
あの…？
アカシアちゃん？

そうね……
私も全身触って
くまなく調べたけど
Dパーツはなかったわ
あれって
調べてたんですか？
趣味と実益を
兼ねてね…
そしてやはり
大きかったわ
わそ
わそ
夜々子先輩の方が
大きいじゃないですか！
……となると
羽菜センパイが
事件に巻き込まれるのって
やっぱ偶然？
ですがマスターは
そう考えて
いない様子です

そこで夕凪！
夕凪はどう思いますか？
私と一緒に語らいながら推理しましょう？
そうしましょう
ええっと…
……羽菜センパイの胸が引き寄せてる…とか？
夕凪ちゃんまで！
だから胸から離れてってばー！
―とか…
みんなして失礼しちゃうよー
…きっと全部偶然だよね
羽菜ちゃ～ん

どうしたの？
さっきから
難しい顔して
アミちゃん
トモちゃん…
な…なんでもないよッ
ははーん
わかった！
もしかして
また鍵守？
命短し恋せよ
乙女だね～
もしかしないよ！
あんな奴!!

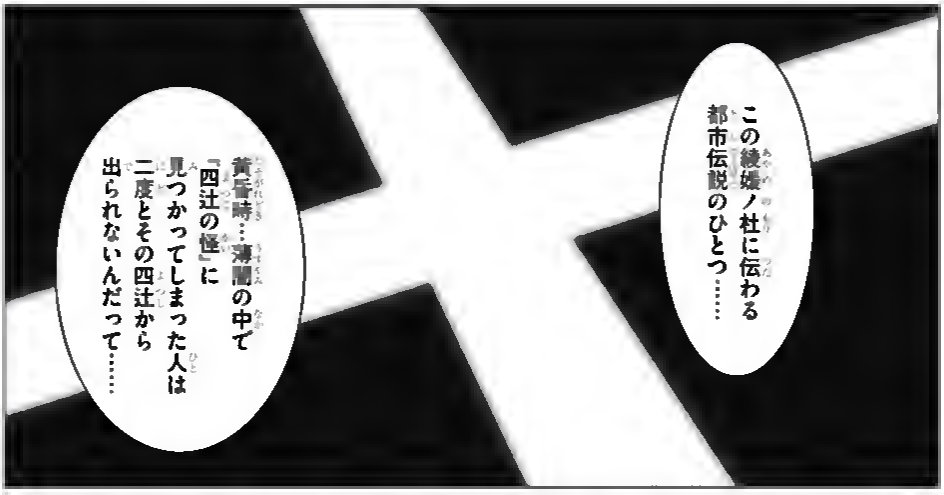
これは今後も
目が離せませんな～
…そういえば
話は変わるけど～……
ハナハナって
一丁目に
住んでるんだよね？
うん
そうだよ
学校のすぐそこっ

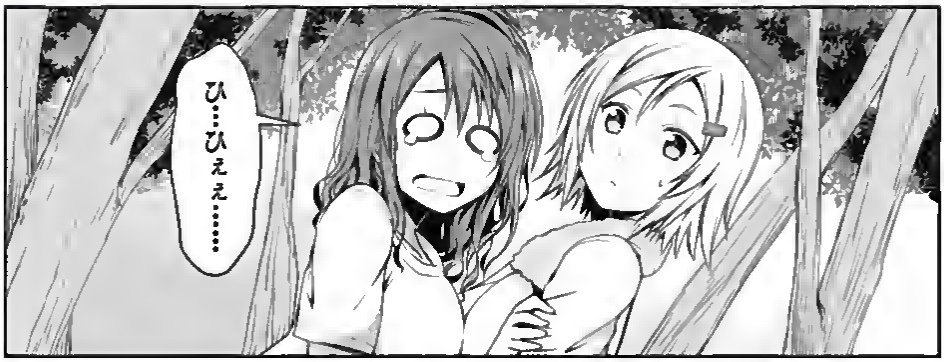
知ってる？
最近その辺り……
綾坂ノ杜町一丁目で
何人かの生徒が
行方不明になってる
っていう噂～

ゆ…行方不明？
ウチの近くで？
……怖い系の
話の予感っ
そう…

…それは
黄昏時の
ことでした……
わー！
聴きたくないよー！
羽菜ちゃんは
相変わらず
怖がりだねー

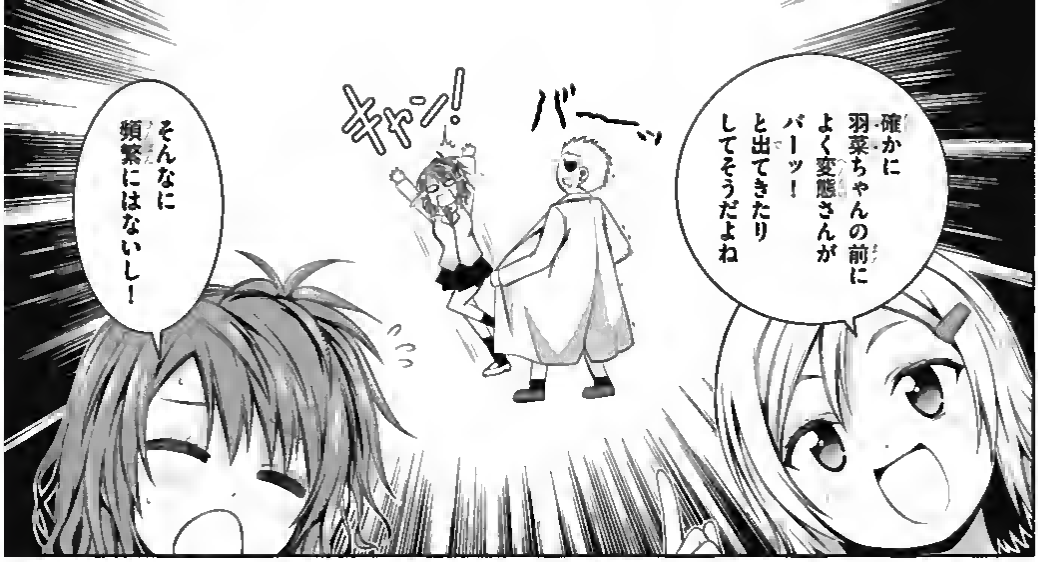
AさんとBさんは
一緒に下校していて
丁度一丁目の辺りで
別れることになって
別れた後
BさんはAさんに
借りていた物を思い出し
返すために
Aさんを追いかけたの…
だけど
先ほど別れた場所
十字路の真ん中に
Aさんの荷物が…
その日を境に
Aさんは行方不明
そう…Aさんは「西辻の怪」に
連れ去られてしまったのだよ……
よ…西辻の怪……？


この綾姫ノ杜に伝わる
都市伝説のひとつ……
黄昏時…薄闇の中で
「四辻の怪」に
見つかってしまった人は
二度とその四辻から
出られないんだって……

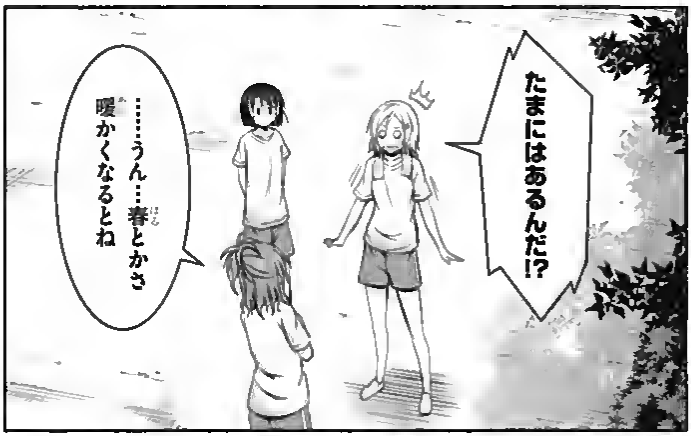

ひ…ひぇぇ……

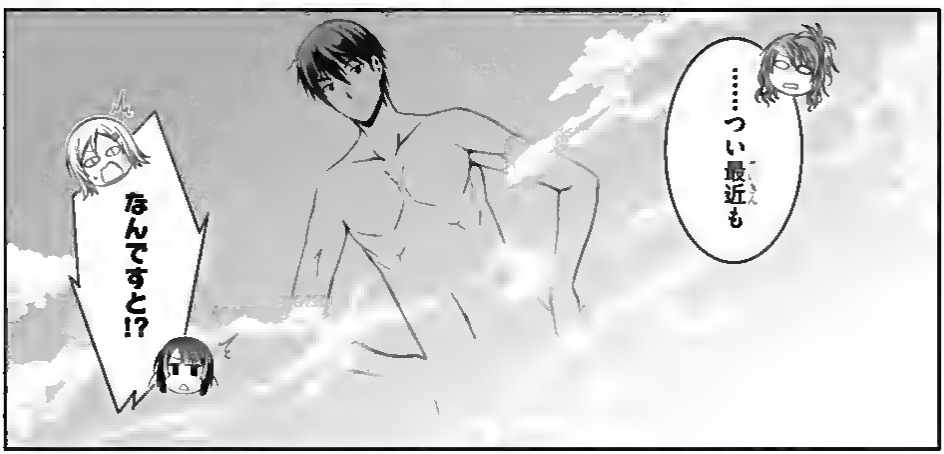
四辻……って
十字路のこと？
うん
むかーしから日本では
「四辻に何か潜む」
みたいな怪談が
あったりするんだよ～

あー…でも
その都市伝説の正体って
変質者とかじゃない？
え？
変質者？
十字路って見通し悪いじゃん？
だから注意しないと危ないぞっ
ていう警告なんじゃない？
パァ
おおおーそっか
そうだよね！
そんな
妖怪みたいなのなんて
いるわけないよね！
ここ
変質者の方が
平気ときたか…

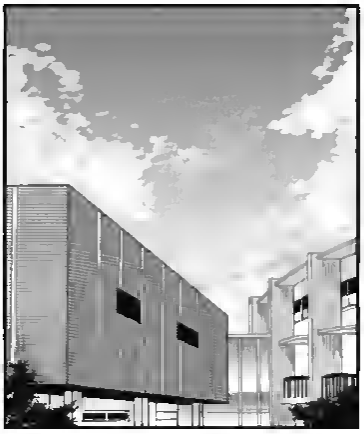

確かに
羽菜ちゃんの前に
よく変態さんが
バーッ！
と出てきたり
してそうだよね
キャン！
バーッ
そんなに
頻繁にはないし！

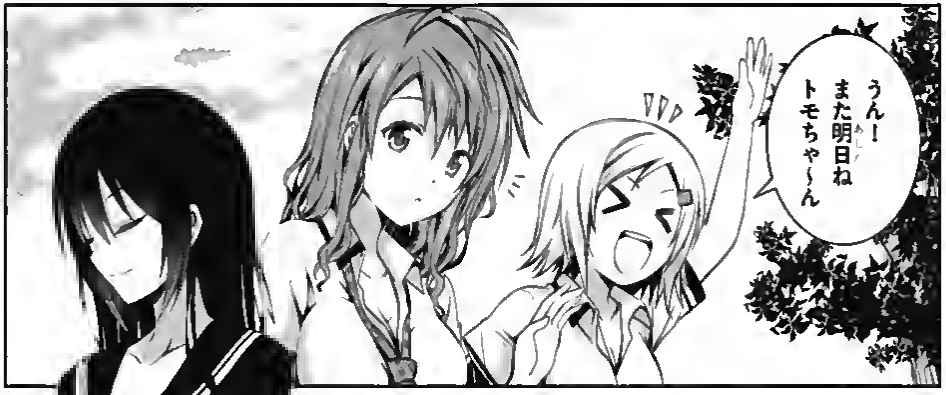
…それと


たまにはあるんだ!?
……うん…春とかさ
暖かくなるとね


……つい最近も
なんですと!?

そんじゃ
あたしと羽菜ちゃんは
先帰るね
寄り道しないで
帰るんだよー
二人とも〜




うん！
また明日ね
トモちゃ〜ん

あ…
夜々子先輩だ
うわ…ッ
校門前に凄い
人だかり……
ざわ
ざわ

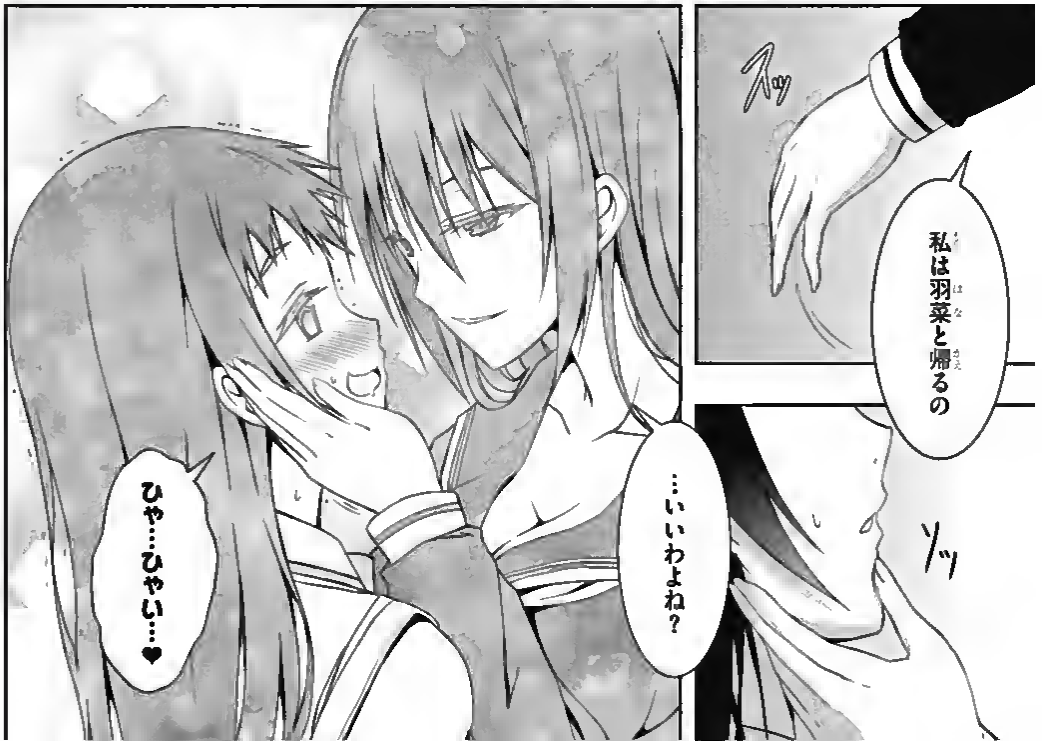
夜々子様……！
夜々子様っ
一緒に帰りましょう！
夜々子様……！
夜々子様
本日この後
良ければ……！
夜々子様……！

ふわー……
やっぱ夜々子先輩は
人気者だなあ……

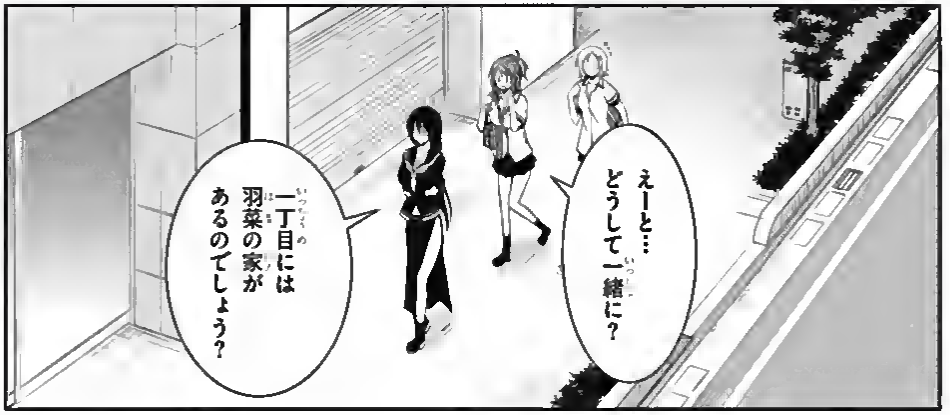
そういえば
羽菜ちゃんの気にしてる
鍵守と同じ名字だけど
親戚だったりするのかな？
もー！
だからぁ…ッ！
あら

羽菜…
貴女を待っていたのよ
一緒に帰りましょう？
えええっ!?

あ…あの…夜々子様？
私たちは…？


私は羽菜と帰るの
…いいわよね？
ひゃ…ひゃい…♥

それではね皆
また明日
ビッ!
はいっ!
良い子たちね
行きましょう
そっちの子も一緒にね
は…はぁ……
ちょっとちょっと
羽菜ちゃんッ!
いつの間に
綾媛ノ杜大付属いちの
スーパー美人
夜々子先輩と
仲良くなってたの!
あー…えーと
夏休みにぃ
色々あって…
かなぁ~と?


えーと…
どうして一緒に？
一丁目には
羽菜の家が
あるのでしょう？

だから念のために
護衛するのよ
ウチの近く…
護衛…
あッ！

あの「四辻の怪」の
都市伝説……！
まさかあれ…
本当に……？
さぁ？
さぁって…っ
歩行者
自転車

夏休みが明けてから
思い出したかのように
流行り始めた噂話に
でも
どれくらい
信憑性があるのかは
私にもわからないわ
都市伝説にせよ
古来伝承にせよ
お伽話にせよ……
それらには全て真実が
含まれているものなの
お化けは
この世にいるのよ

鍵守夜々子先輩…
この人もかなり
不思議な人…だよね
八鍵守と敵だったっていうし
でも今じゃ一緒に住んでるし…
結局どういう関係なのかな？
先輩だけじゃなくて
アカシアちゃんも
夕凪ちゃんも…

いやいや…
……あの変態のこと
気にしてるわけじゃ
ないないない……
？
だから頭に
浮かばなくていいよー
羽菜

貴女の家…
この道でいいのよね？
え？
や…やだなぁ先輩
知らずに先を
歩いてたんですか？
…失礼ね
そんな事無いわ

もしかして
夜々子先輩って
方向音痴だったり？
ひそ
ひそ
それ…ちょっと
可愛いかも…
聞こえてるわよ
二人とも

その道を
右に曲がれば
すぐですよ
あら？
もしかして
ここが噂の
十字路かしら

ピタッ…
ハッ
スッ…
夜々子先輩……？
私としたことが
迂闊だったわ

な…何が……
ね…ねえ
羽菜ちゃん

どうしたの
アミちゃん…？

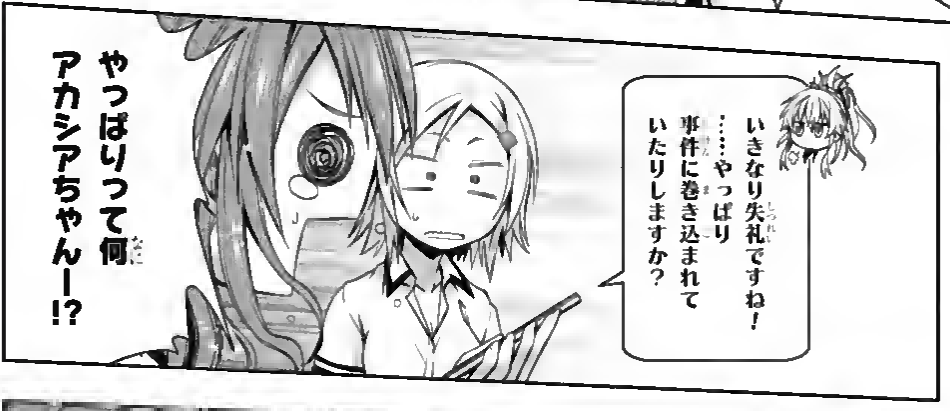
あれ…
電柱の所…
…だれか
倒れてない？

あの…
大丈夫です…
か――

キャアアア!!
くくく…首が！
首が無いよぉ！

下がってて…
や…夜々子先輩？
感染反応……やはりね
か…感染……？
それって……
ええ…
明らかに「真紅の前夜」よ
ピロリロリン
ひゃわあっ!?
で…電話？
こ…こんな時にいったい誰が…ッ

無事か？
茜ヶ崎
んきゃあぁぁ！
生首いいい!?


いきなり失礼ですね！
……やっぱり
事件に巻き込まれて
いたりしますか？
やっぱりって何
アカシアちゃんー!?

マスターの話では
感染反応があれば
そこに羽葉さんが
いるだろう……と
ビンゴでしたね
うぅぅ……
実際にそうだから
何も言い返せない…

マスター
広域感染反応を確認
落ち着け…
美柳も一緒
みたいだな
か…篠守
どど…どうしよう!?
しかも
この通話の
電波以外では
感染区域への
干渉ができません
高位感染体の
『狩場』か……
そちらの状況は
どうなってる？
悠人
そ…そう聞いて！
首のないっ男子のっ
死体みたいなのがぁ！

……生命活動は
停止していなかったわ
首だけが感染したと
みるべきね
首だけ……？
…わかりました
気をつけてください
夜々子先輩
いいか
茜ヶ崎
は…はいっ！
美柳と一緒に
夜々子先輩の
いうことを守れ
夕凪を連れて
必ず助けに行く
それまで――
か…鍵守!?
アカシアちゃん!!
なんか途中で
切れちゃったよ!?
ね…ねぇ…ッ！

ズンッ
いったい
これって――
ズン
ズン
ま…またッ!?
え…
地鳴り…?
こんな時に
地震なんて…
ズン
ズンッ
……貴女たち
気をつけて
え?
曼瓦臘泥加
曼瓦臘泥加――

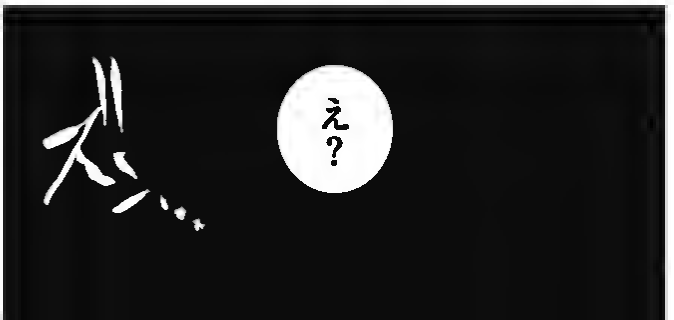
ズ
墨瓦臘泥加（メガラニカ）
きゃあああああっ!?
早く逃げなさい二人とも!
は…はいっ!

さてと…
ここから
どうしたものかしら？
困ったわね……
タッ
タッ
あわわわ
なにあれ
なにあれ!?
わかんないよぉ！
でも今は
とにかく逃げなくに…
ハッ!!
え!?

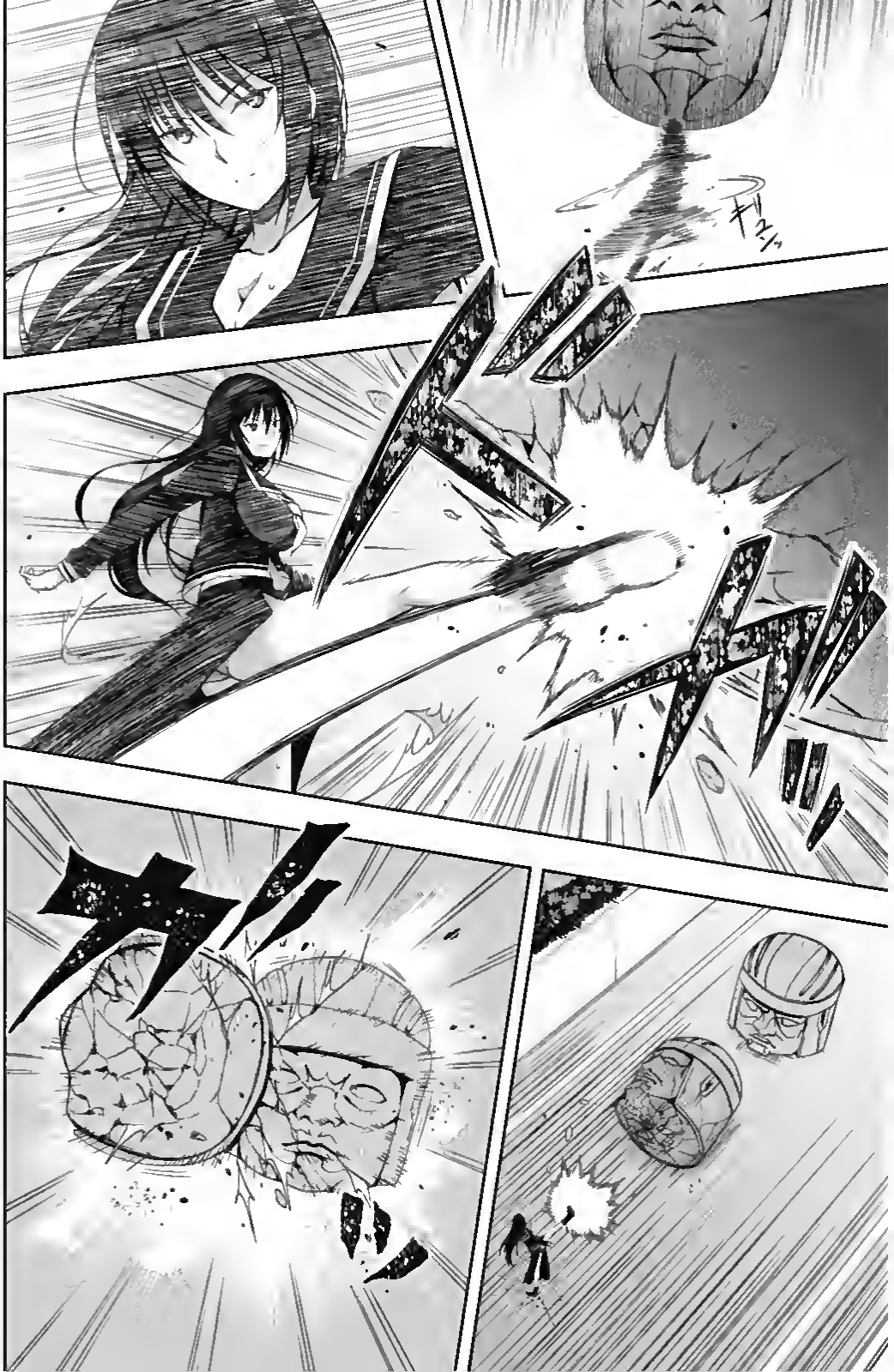
や…
夜々子先輩!?
!?
貴女たち
逃げたはずじゃ…

なるほど……
これが
「四辻の怪」
で…でもでも
先輩なら
何とかなりますよね!?
サメのときみたいにッ

期待に応えたい
ところだけれど
ここでは私の力は
封じられているみたい

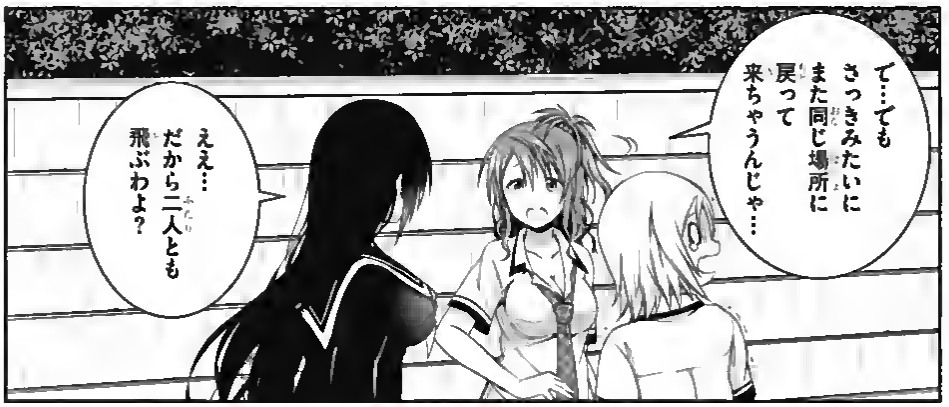

え?

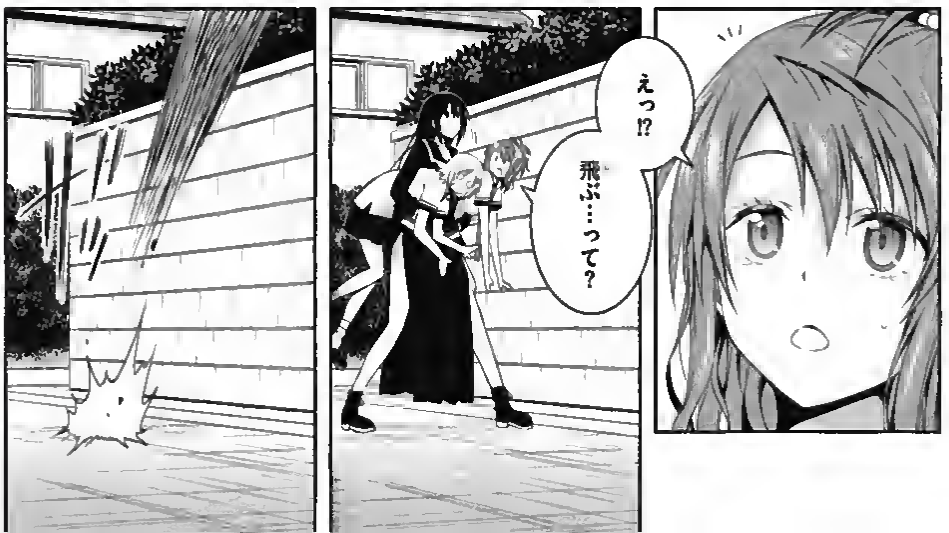
第7節『オルメカの巨石人頭像・2』（カペサ・オルメカ）



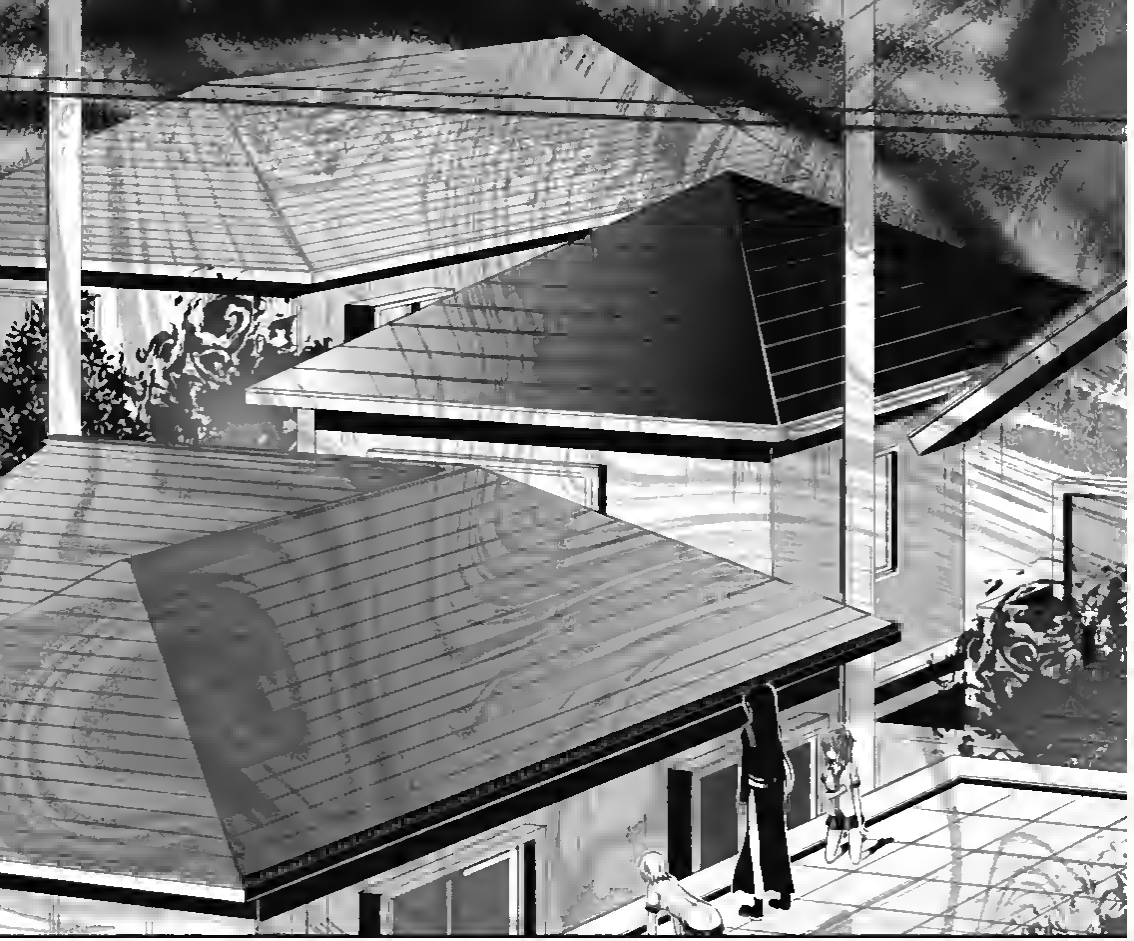
や…夜々子先輩
力が封じられて
いるんじゃ……？
そうね
だから今のは
結構無理をしたわ
やっぱり体が
もたないわね
あ…
血が……
ち…力って？
そ…それに今
先輩凄いこと
しなかった？
ええっと
…それは…
ズン
ズン
…っ
この音——

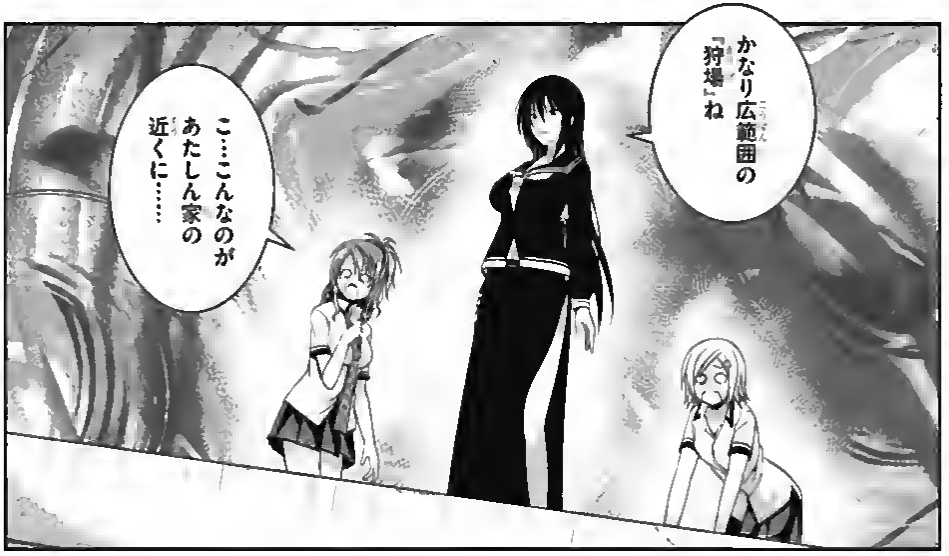
スーッ
スーッ
も…もう一体!?
そ…
そんな…
まだ……
話は後にして…
今の内に
逃げましょう


で…でも
さっきみたいに
また同じ場所に
戻って
来ちゃうんじゃ…
ええ…
だから二人とも
飛ぶわよ?


ヒュン
えっ!?
飛ぶ…って?

わわ…っ
タッ
タッ
タンッ
っ……
や…夜々子先輩
大丈夫ですか!?
大丈夫よ……
それより
滑らないよう
気を付けなさい
な…
何これぇ……




かなり広範囲の
「狩場」ね
こ…こんなのが
あたしん家の
近くに……

悠人……
あまり長くはもたなくてよ

すまないな
夕凪……
突然呼び出して
いいわよ
緊急事態だし
……むしろ
羽菜先輩以外にも
他の一般人が
巻き込まれて……
私の大失態よ
夕凪だけの
所為じゃないさ
二人とも
問題の場所が近いです
気を付けてください

ここが例の四辻？
見た感じは特に何もなさそうだけど…

だが…確かに嫌な気配だ……アカシア！
了解しました周囲をスキャンします

スキャン完了…こ…これって
どうした？
か…感染反応——

世界侵食（バンデ・ノク）レベルです

……いつの間（ま）にこんなに……
悠人（ゆうと）さ…
マスター！…っ

ふむ…

…ダメだな
かなり強力な「狩場」だ…
侵入するのは
骨が折れそうだな
センパイの力でも
無理となると……
今回のDパーツは
かなりヤバイのね

だが
この「狩場」を
破る方法
そして感染体を
打倒する手段なら
あるぞ……
え…本当？

じっ
だが…
先に言っておく
お前にはまた
迷惑をかける
かもしれない
べ…別に
いいわよ
それ位っ
そもそも
センパイは
間違ってる…

今はセンパイは私の部下みたいなものなんだし
遠慮なく頼ってくれていいんだから…
夕凪…
ありがとう
はう…
キッ
と…とにかく…アカシア
今回の感染体の詳細なデータを頂戴
なにその顔っ!?
夕凪可愛い…今出しますね

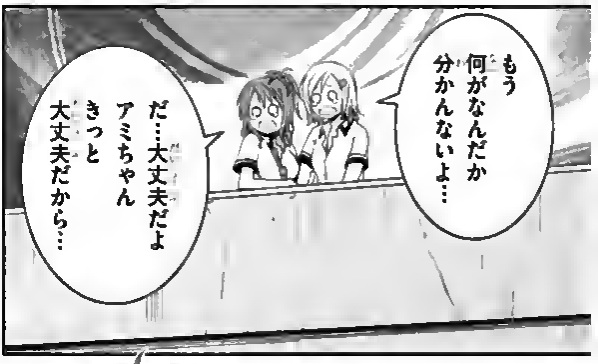
Cabeza olmeca
「オルメカの巨石人頭像」
巨大な石で造られた
人間の頭を
模したものです
このDパーツは
広域で同じ物が
発見されており
その能力は――

「捕食増殖」

そんな……
じゃあもしかして
これ全部…
ああ…
この犠牲の数だけ
感染してる……
という事だ

曼瓦腦泥加
曼瓦腦泥加
わら
わら
わら

やだ…
もうやだよ!!


もう
何がなんだか
分かんないよ…
だ…大丈夫だよ
アミちゃん
きっと
大丈夫だから…

こんなの夢に
決まってるよぉ!
あ…あたしも
超怖いし
訳が分かんないけど
助けに来るって…
言ったから
…あいつは
必ず来るって
言ったもん
羽菜…

っ!!
夜々子先輩っ!?

どうやら
この子が――
本体のようね！
さっき
倒したのとは…
力が段違い…っ
あ…あ……っ！
羽菜
その子を連れて
逃げなさいっ！
早く！
て
でも……！

墨瓦臘泥加
墨瓦臘泥加
ひいいいっ!?
……あぅ……
あ…アミちゃん!
どうしよう…
どうしよう…っ
誰か誰が
だれかダレカ…っ
助けて…助けて
あたしに
助ける力が
あれば……っ

ふえ…？
この光（ひかり）……？
オオオオオオオオ!!
蔓瓦臓泥加（メガラニカ）!!
我（ワレ）ラガ故郷（コキョウ）――!!
ツイニ見（ミ）ツケタ――!!
ギロ
っ!!
ロン
くっ！

は…羽菜…
貴女…今……
夜々子先輩!?
墨瓦臘泥加
墨瓦臘泥加
!?
こ…こんなの
もう…
どうしようも……
――大丈夫よ

貴女…
言ったでしょう？
絶対に来るって…
だから…
諦めないで
スパッ
バチッ
その通りだ

再帰せよー!!
レキュアランス
ドゴ
時空間座標固定完了
対象感染体の「狩場」侵入成功です

悠人
――遅いわよ
か…鍵守！
皆ぁ!!

お待たせしました
夜々子先輩
茜ヶ崎も
無事で良かった
美柳は…？
それが
気絶しちゃって…

丁度いいわ
今日の事は
夢だったとして
処理しましょ
それよりも…
これを処分しないと
ああ…
他の巨頭は
俺のバビロンて
押さえつけておく
守りはお前だ
タ凪

本体への
攻撃は……？
その役は
決まっている……

茜ヶ崎
これを
持っていてくれ
大事にして
くださいね
う…うん

来るぞ！

オオオオオオ！
『アッシリアの水晶鏡（アッシリアレンズ）』
夕凪ちゃんっ
センパイたち！
機密管理第九階級
鎮宮夕凪の名において
現時刻をもって
鎮守悠人の謹慎処分を
解除します

これで
いいんでしょ！

…という事です
夜々子先輩
ええ

どうぞ
ポカッ

カプッ

ドクン
ふぁぁぁっっっ!!
はぁ
はぁ

凄い…
とても素敵よ
悠人……
いけそうですか
先輩
ええ…だから
しっかりと
見ていて
悠人
オノレオノレ
オノレ!!
高位感染体デアル貴様ガ
何故人間ゴトキノ
味方ヲ!!

再帰なさい
私の宝物——

そんなもの
悠人を
愛しているからに
決まっているわ
身の程を知りなさい
石ころ
ガ？

オオ
ガアアアア
オ
オ
ヤット…ヤット
見ツケタノニ――
我ガ故郷(ココ)――

「オルメカの巨石人頭像」
完全消滅しました
た…助かったの？
はい
本体が消滅しましたので
この空間も他の感染体…
犠牲者の方も
元に戻るでしょう
そっかぁ…
よかった…
ちょ…か……
完全消滅って……
夕凪ちゃん？
センパイたち
またDパーツを
完全に
壊しちゃった訳!?
聞いて
ないんだけど!?
だから
迷惑をかけると
言っておいたんだ

これだけ感染が広がってるんだ…元を破壊するのが一番……
そんなの私だって思いつくわよ！
もっと別の手段を期待してたのに！

ああああっもうっ！詩姫になんて言い訳すればー…
まぁまぁ…そうだ！私も一緒に言い訳を考えてあげますよ

いらないわよ
そ…そんなぁっ
あらあら

お疲れさまでした
夜々子先輩
無事なようで
何よりでした
当然よ

私が愛する
貴方以外に
負けると思って？

……でも
羽菜の
あの光
あれは…
まさか——